

ARROWS Tab Wi-Fi

取扱説明書〈詳細版〉

Android4.0用



FUJITSU

はじめに

本端末をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- ・本端末は、無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- ・本端末に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ・大切なデータはmicroSDカードに保存することをお勧めします。

本端末の操作説明

「取扱説明書」（冊子）

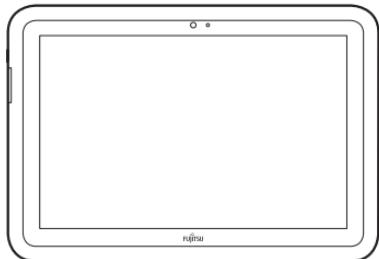
画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

「取扱説明書〈詳細版〉」（PDFファイル）

次の操作で表示されるサポートページからPDFファイルをダウンロードできます。
〈本端末から〉 アプリケーションメニューで「サポート情報」
〈パソコンから〉 <http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/>

本体付属品

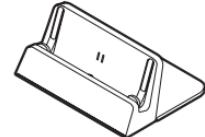
本端末（保証書含む）



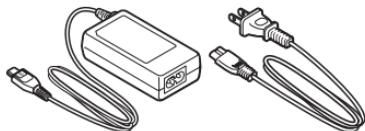
取扱説明書



卓上ホルダ



ACアダプタ



PC接続用USBケーブル



- ・本書においては、「FAR70A」、「FAR75A」を「本端末」と表記しています。
- ・本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作を表しています。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目 次

■本体付属品	1
■お使いになる前に	4
■ご利用にあたっての注意事項	7
■安全上のご注意（必ずお守りください）	7
■取り扱い上のご注意	12
■防水性能	16
 ご使用前の確認と設定	20
各部の名称と機能	20
初期設定	21
microSDカード	22
充電	23
電源ON/OFF	25
基本操作	25
ハンドジェスチャーコントロール	27
画面表示／アイコン	28
ホーム画面	31
アプリケーション画面	32
文字入力	33
ロック／セキュリティ	41
 連絡先	47
連絡先の使いかた	47
プロフィールの編集	48
 各種設定	49
設定メニュー	49
無線とネットワーク	50
音・振動	52
ディスプレイ	54
マルチメディア	55
ストレージ	55
NX!エコ	56
アプリケーション	56
アカウントと同期	57
言語と入力	58
バックアップと復元	59
本端末の初期化	60
日付と時刻	60
ユーザー補助	60
端末情報	60
 メール／インターネット	61
Eメール	61
Gmail	63
Google トーク	63
ブラウザ	64

ファイル管理 66

Bluetooth®通信.....	66
外部機器接続	68

アプリケーション 70

カメラ	70
ギャラリー	73
ミュージックプレーヤー	74
YouTube	74
Playストア	75
GPS／ナビ	76
ワンセグ	79
DLNA対応機器との連携	84
時計	86
カレンダー	86
電卓	87
電子辞書	87
検索	88
Document Viewer	88

保証とアフターサービス 89

サポート情報の公開について	89
修理について	89
富士通タブレット修理規定	91
富士通タブレット相談対応規約	95

付録／索引 99

トラブルシューティング (FAQ)	99
廃棄・リサイクル	101
主な仕様	101
認定および準拠について	102
Wi-Fiとは	103
輸出管理規制	104
知的財産権	104
索引	107

お使いになる前に

◆ 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、この取扱説明書を熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、この取扱説明書は、本製品の使用中についつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

◆ 保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。

修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。

修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態をご返送します。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するためには必要な部品）の保有期間は、製造終了後6年です。

本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することができますので、あらかじめご了承ください。

◆ 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

❖ ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理が施してある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 壁紙の使用条件

本製品に「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。

8. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中止、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

◆ 液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です）。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。

本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

◆ 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

◆ 有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って磨耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において1日約8時間、1ヶ月で25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

本製品に使用しているアルミニウムコンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

磨耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。

〈主な有寿命部品一覧〉

液晶ディスプレイ、ACアダプタ、フラッシュメモリディスク

◆ 消耗品について

バッテリーパックなどの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、本製品の内蔵バッテリーパックは取り外しができません。また交換は修理対応（有償）になります。

◆ 24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

ご利用にあたっての注意事項

- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや本端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P41
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebookなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- 本端末は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人のへの危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い（共通）	8
本端末の取り扱い	9
ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い	11
材質一覧	12

◆本端末、ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い（共通）

△警告

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災・やけど・けがの原因となります。

本端末を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。
発煙・発火・破裂の原因となります。

本端末をお客様ご自身で修理、分解、改造しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通タブレット修理相談センター」にご連絡ください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
水濡れ禁止 火災・やけど・けが・感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→ P16

本端末の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水濡れ禁止 液体が本端末の内部に入って、感電・火災の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→ P16

指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを使ったり、ACアダプタや電源ケーブルを他の製品使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

落下せたり、強い衝撃を与えないでください。
禁止 カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障・感電・火災の原因となります。
修理は「富士通タブレット修理相談センター」にご連絡ください。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないのでください。
火災・やけど・けが・感電の原因となります。



禁止

本端末やACアダプタを使用中は、ふとんなどをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

本端末を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。



電源プラグを抜く

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにタブレット端末の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通タブレット修理相談センター」にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

△注意



禁止

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所には置かないでください。
けがの原因となります。



禁止

調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中ににおいても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



禁止

本端末やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
低温やけどの原因になります。

◆本端末の取り扱い

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムポリマー電池

△警告



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火・破裂・発熱・漏液の原因となります。



指示

内蔵電池が液漏れし、漏れ出した液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、直ちに水でよく洗い流してください。
皮膚に障害を起こす原因となります。



禁止

スロットなどの開口部から、本端末の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



指示

次の場所では、本端末の電源を切るなどして、無線通信機能を停止してください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
 - 特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
 - ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
 - ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
 - ・満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位からは22cm以上離してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。



禁止

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面にはABS樹脂、カメラのレンズの表面には高強度アクリル樹脂部品を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れると、けがの原因となります。



禁止

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。



電源プラグを抜く

本端末を落としたり、カバーなどを破損した場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通タブレット修理相談センター」にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



指示

本端末をご使用になる場合には、十分明るい場所で、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

また、本端末をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに使用を中止し、医師の診断を受けてください。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



指示

ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒の恐れがあります。

ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



禁止

一般的のゴミと一緒に捨てないでください。
内蔵電池はリチウムイオン電池を使用しており、一般的のゴミと一緒に火中に投じられると破裂の恐れがあります。

廃棄の方法については、こちらをご覧ください。

→P101



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧（P12）」

◆ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い

△警告



禁止

電源ケーブルが傷ついている場合は使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本端末やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災・やけど・感電の原因となります。



禁止

電源ケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



禁止

電源ケーブルに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電・火災の原因となります。

禁
れ
る
手

濡れた手でACアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

濡れ手禁止 火災・やけど・感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災・やけど・感電の原因となります。



指示

電源ケーブルはコンセントから時々抜いて、コンセントとの接続部分およびACアダプタとの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1年に一度は点検清掃してください。



指示

電源ケーブルは、壁のコンセントに直接かづ確實に差し込んでください。

感電・火災の原因となります。



指示

電源ケーブルを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となります。

電源プラ
グを抜く

内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通タブレット修理相談センター」にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラ
グを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

火災・やけど・感電の原因となります。

△注意



長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜く
火災の原因となることがあります。

◆材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース	フロントケース	ABS樹脂 UVハードコート
	リアケース	PC+ABS樹脂 UVハードコート
タッチパネル	強化ガラス	AFコート
カメラパネル	高強度アクリル樹脂	UVハードコート
電源キー	ABS樹脂	錫メッキ
音量ボタン	ABS樹脂	錫メッキ
ステレオイヤホン端子	PA樹脂	なし
端子キャップ／スロットキャップ	本体	PC樹脂 UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂 (PE) なし
	止水部	シリコーンゴム なし
外部接続端子	ステンレス鋼	錫メッキ
充電端子	接点部	ステンレス鋼 金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂 なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- 本端末は防水性能を有しておりますが、端末内部に漫水させたり、付属品に水をかけたりしないでください。
 - ACアダプタ、卓上ホルダは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

・本端末などに無理な力がかかるないように使用してください。

- 多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

・ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

- 傷つくことがあります、故障、破損の原因となります。

◆本端末についてのお願い

・タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。

- タッチパネルが破損する原因となります。

・極端な高温、低温は避けてください。

- 温度は5°C～35°C、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。お風呂場でのご使用については、「本端末が有する防水性能でできること」をご覧ください。→P16

・一般的な電話機やテレビ・ラジオなどを使い慣れている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

・お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

- 故障、破損の原因となります。

・外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

- 故障、破損の原因となります。

・使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

・直射日光がカメラに当たる場所に放置しないでください。

- ディスプレイの退色・焼付きを起こす場合があります。

・通常は端子キャップとスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。

- ほこり、水などが入り故障の原因となります。

・microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

- データの消失、故障の原因となります。

・磁気カードなどを本端末に近づけないでください。

- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

・本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

・内蔵電池は消耗品です。

- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、「富士通タブレット修理相談センター」までお問い合わせください。

・充電は適正な周囲温度(5°C～35°C)の場所で行ってください。

・内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

・本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管

- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程度消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆ACアダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般的な電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタが温かくなることがあります
が、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そ
のコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を
変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセ
キュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠した
セキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容
などによってセキュリティが十分でない場合があり
ます。Bluetooth機能を使用した通信を行なう際には
ご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の
漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、
あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次の
とおりです。

使用周波数帯域：2400MHz帯

変調方式：FH-SS方式

想定される与干渉距離：10m以下

周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避
不可

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家
電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の
製造ラインなどで使用される免許を要する移動体
識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無
線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」
と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」
が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」ととの間に電波
干渉が発生した場合には、すみやかに使用場所
を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避
けてください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力
無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合
など何かお困りのことが起きたときは、「富士
通タブレット修理相談センター」までお問い合わせ
ください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

・無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

・無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

・周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。

使用周波数帯域：2400MHz帯

変調方式：DS-SS方式、OFDM方式

想定される与干渉距離：40m以下

周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

利用可能なチャンネルは国により異なります。

WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するかご利用を中断してください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「富士通タブレット修理相談センター」までお問い合わせください。

◆注意

- ・改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- ・Bluetooth機能は日本国内で使用してください。本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

防水性能

本端末は、端子キャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5^{*1}、IPX7^{*2}の防水性能を有しています。

*1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

*2 本端末におけるIPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.0mのところに本端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。

◆本端末が有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、端子キャップやスロットキャップの開閉はしないでください。

- 水深1.0mのプールの中に沈めることができます。

- 水中で操作しないでください。
- プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、後述の方法で洗い流し、所定の方法(→P18)で水抜きしてください。

・お風呂場で使用できます。

- 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法(→P18)で水抜きしてください。

- 温泉や石鹼、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、直ちに後述の方法で洗い流し、所定の方法(→P18)で水抜きしてください。
- お風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。

- 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。

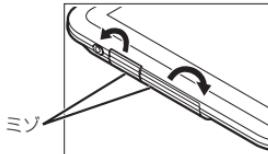
- 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。

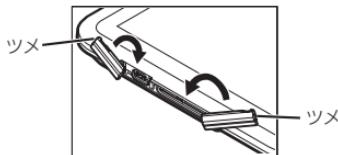
- 洗うときは、端子キャップとスロットキャップが開かないように押されたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

◆防水性能を維持するために

- 水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。
- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
 - microSDカードの取り付け／取り外し時や外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けけてキャップを開け、矢印のように回してください。



また、microSDカードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は、矢印のように回してキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



- 端子キャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落とさないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 端子キャップ、スロットキャップのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。「富士通タブレット修理相談センター」までお問い合わせください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品は防水性能を有していません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態で動画再生などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワーリーム、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定 (→P16) 以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当て痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本端末はIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てるしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。

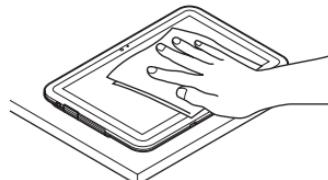
- ・プールで使用するときは、その施設の規則を守って、
使用してください。
- ・本端末は水に浮きません。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子
がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、
故障の原因となります。
- ・マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。
動作不良となる恐れがあります。
- ・端子キャップやスロットキャップが開いている状態
で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、
感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに
電源を切り、「富士通タブレット修理相談センター」
までお問い合わせください。
- ・端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンが
傷ついたり、変形したりした場合は、「富士通タブ
レット修理相談センター」までお問い合わせください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を
保証するものではありません。また、調査の結果、
お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場
合、保証の対象外となります。

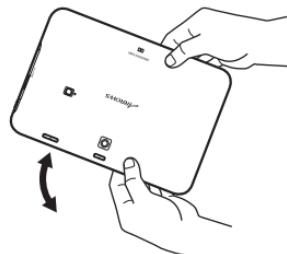
◆水抜きについて

本端末を水に漏らすと、拭き取れなかった水が後から
漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜き
を行ってください。

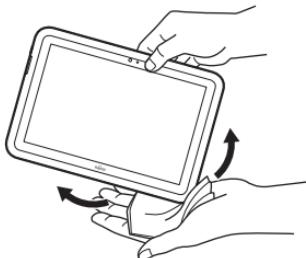
- ① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾
いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



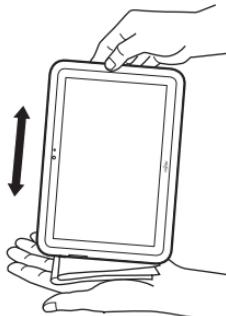
- ② 本端末のディスプレイ面を下にして、長い辺を両手
でしっかりと持ち、10回程度水滴が飛ばなくなる
まで振ってください。その後、180度持ち替えて
同様に10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってく
ださい。



- ③ 外周部の隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などで本端末の四隅を各10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ④ マイク、スピーカー、キー、充電端子、指紋センサーなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などで本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ⑤ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- ・隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

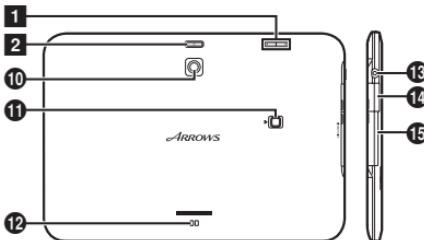
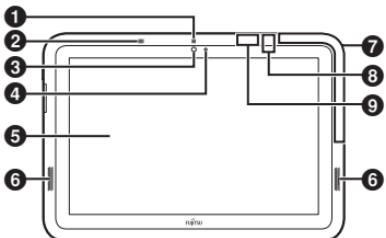
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- ・充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ・付属品は防水性能を有していません。
- ・本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、端子キャップを開いたりしてください。
- ・端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをお勧めします。
- ・ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



〈各部の機能〉

① ランプ

赤色点灯：充電中

緑色1回点灯：電源ON

※ アプリケーションによって点灯／点滅色は異なります。

② マイク

③ インカメラ

④ 照度センサー

周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節

※ ふさぐと正しく調整されない場合があります。

⑤ ディスプレイ（タッチパネル）

⑥ スピーカー

⑦ ワンセグアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑧ Bluetooth/Wi-Fiアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑨ GPSアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑩ アウトカメラ

⑪ 指紋センサー

⑫ 充電端子

⑬ ステレオイヤホン端子（防水）

⑭ 外部接続端子

付属のPC接続用USBケーブルなどの接続

※ microUSBプラグは刻印のある面を上にして、外部接続端子に水平に差し込んでください。

⑮ microSDカードスロット→P22

〈キーの機能〉

① 音量大キー ▶ / 音量小キー ▷

押す：音量調節

② 電源キー ⊖

押す：スリープモードの設定／解除

長く押す：電源を入れる／切る

初期設定

初期設定は、ネットワークに接続する操作が含まれます。必要に応じて無線LANに接続できる環境で行ってください。

1 [電源] (2秒以上)

「ようこそ」と表示されます。

- ・[日本語] をタップすると、言語を変更できます。
- ・ソフトウェア更新通知が表示された場合は [OK] をタップします。

2 [開始]

Wi-Fi設定画面が表示されます。

3 Wi-Fi設定を行い、ネットワークに接続する

- ・Wi-Fi設定を行った場合は、ネットワークから提供された日付と時刻が自動的に設定されます。
AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合：[Wi-Fi簡単登録] → 登録方式を選択 → アクセスポイント側で操作 → [OK]

接続するWi-Fiネットワークが表示されている場合：Wi-Fiネットワークを選択 → 必要に応じてパスワード（セキュリティキー）を入力 → [接続]
その他の場合：[ネットワークを追加] → 追加するネットワークのSSIDを入力 → セキュリティを選択 → 必要に応じてセキュリティ情報を入力 → [保存]

Wi-Fi設定を行わない場合：[スキップ] → 日時を設定 → [次へ] → Google利用画面で [今は設定しない] → 操作5へ進む

4 [次へ] → Google利用画面で設定を行う
既存のGoogleアカウントを利用する場合：[ログイン] → 画面の案内に従って設定を行う
Googleアカウントを作成する場合：[アカウントを作成] → 画面の案内に従って設定を行う
ログインしない場合：[今は設定しない]

5 Google位置情報サービス利用を設定→[次へ]

6 タブレット所有者を設定→[次へ]

- ・Googleアカウントでログインしなかった場合は、[次へ] をタップした後、Googleサービスの同意を確認して [次へ] をタップします。

7 セットアップ完了画面で[完了]

◆設定メニューからの初期設定

Googleアカウントを後から設定したり、本端末を使うために必要な項目をまとめて設定したりできます。

- ・各設定はいつでも変更できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[初期設定]

2 各項目を設定

- ・画面ロックの認証設定→P41
- ・セキュリティ解除方法→P41
- ・ホーム壁紙→P32
- ・フォトスクリーン→P54
- ・Googleアカウントを持っていない場合は、[新しいアカウント] をタップして、画面の案内に従って登録を行ってください。Googleアカウントを持っている場合は、[既存のアカウント] をタップして、メールアドレスとパスワードを入力してログインしてください。
- ・卓上ホルダ充電→P23

✓お知らせ

- ・初期設定の項目以外にも、必要に応じてEメールのアカウントを設定してください。→P61

microSDカード

◆ microSDカードについて

本端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けて利用します。

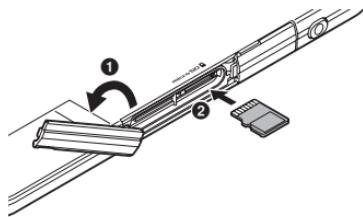
- ・本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年12月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- ・microSDXCカードは利用できません。
- ・microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- ・microSDカードの取り外しは、編集中のデータが失われる可能性がありますので、マウントを解除するか電源を切ってから行ってください。マウントを解除せずにmicroSDカードを取り外すと、再起動が必要となります。

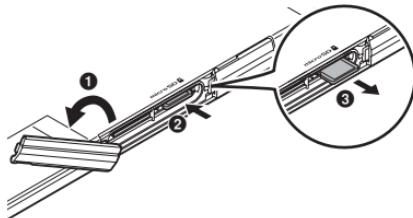
■ 取り付けかた

本端末のスロットキャップを開け（①）、本端末裏側のmicroSDマークの向きに合わせてmicroSDカードの金属端子面を上に向けて、microSDカードを「カチッ」と音がするまで②の方向に差し込む



■ 取り外しかた

本端末のスロットキャップを開け（①）、microSDカードを②の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを③の方向にまっすぐ引き出す



✓お知らせ

- ・microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

充電

◆充電時のご注意

- ・本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- ・充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・次の場合、充電エラーになります。充電エラーになると、起動中の機能が終了して電源が切れ、ランプが消灯します。充電器から取り外してください。
 - 充電電圧が高くなつた
 - 内蔵電池が過充電／過放電した
 - 10時間以上たつても充電が完了しなかつた
 - 電池温度が保証動作温度外となつた

◆内蔵電池の寿命について

- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。
- ・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になつたら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。内蔵電池の交換につきましては、「富士通タブレット修理相談センター」までお問い合わせください。

◆ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ*：AC100Vから240Vまで対応しています。

* ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

◆電池残量の確認のしかた

ステータスバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。→P28
また、次の方法で電池残量の目安をパーセントで確認できます。

- ・ステータスバーの時計から右側をタップする
- ・アプリケーションメニューで【設定】→【電池】をタップする
- ・アプリケーションメニューで【設定】→【端末情報】→【端末の状態】をタップする

✓お知らせ

- ・電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

◆卓上ホルダ充電の設定

付属の卓上ホルダを使って充電する場合は、本設定を必ず確認してから充電を行ってください。

- ・卓上ホルダを使わないで充電する場合は、本設定を変更する必要はありません。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【初期設定】→【卓上ホルダ充電】→充電方法を選択

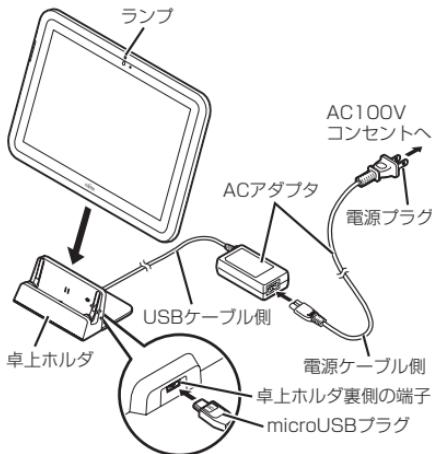
急速充電：付属のACアダプタを接続して充電する場合に選択します。

通常充電：付属のACアダプタ以外を接続して充電する場合に選択します。

◆卓上ホルダを使って充電

付属のACアダプタと卓上ホルダを使って充電してください。

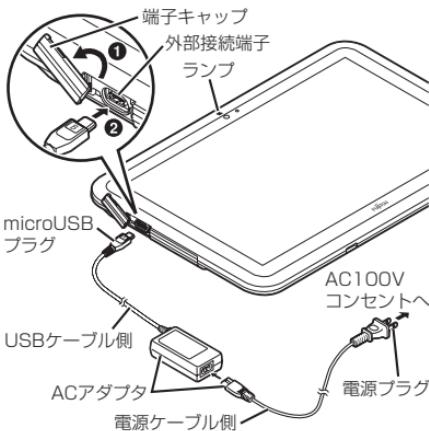
- ① ACアダプタの電源ケーブル側とUSBケーブル側をつなぐ
- ② ACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の表記面を上にして、卓上ホルダ裏側の端子に差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む
- ④ 本端末を卓上ホルダに差し込む
 - ランプが赤色に点灯するのを確認してください。
充電が終了するとランプは消灯します。
- ⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外す
- ⑥ ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く



◆ACアダプタを使って充電

付属のACアダプタを使って充電します。

- ① ACアダプタの電源ケーブル側とUSBケーブル側をつなぐ
- ② 本端末の端子キャップを開け（①）、ACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の表記面を上にして、外部接続端子に差し込む（②）
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - ランプが赤色に点灯するのを確認してください。
充電が終了するとランプは消灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、外部接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを抜く



◆ パソコンを使って充電

付属のPC接続用USBケーブルで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- ・パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。
- ・外部接続端子の充電と卓上ホルダの充電を同時にを行うと、卓上ホルダの充電が優先されます。

電源ON/OFF

◆ 電源を入れる

1 [○] (2秒以上)

ランプが緑色に点灯した後、起動画面に統いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 ロック画面の[□]を[○]までスライド

- ・ロック画面→P30

◆ 電源を切る

1 電源オプション画面が表示されるまで [○]を押し続ける

- ・[○]を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

2 【電源を切る】

バイブレータが振動して電源が切れます。

再起動：【再起動】

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末はタッチパネルを指で直接触れて操作します。

❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- ・次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作

❖タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指を離した時点で操作が有効になります。

ダブルタップ：しばらく2回続けてタップします。



❖ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

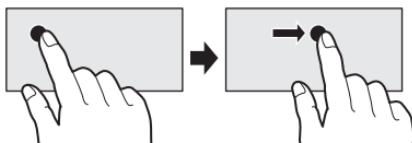
❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

・アプリケーションによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作でできます。

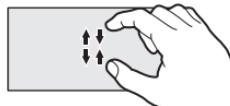
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例: ドラッグ

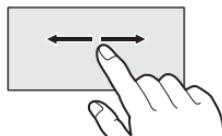
❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P54）。

・表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

・画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 [○]と[□]（音量小キー）を同時に押す（1秒以上）

通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップ、またはアプリケーションメニューで【ギャラリー】→【Screenshots】をタップすると、画像を確認できます。

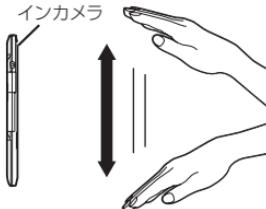
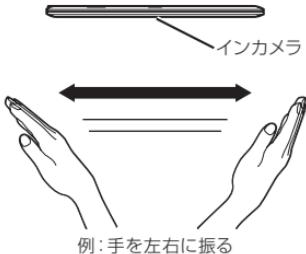
ハンドジェスチャーコントロール

ハンドジェスチャーコントロールとは、インカメラの前で手を振るだけで、タッチパネルに触れずに操作できる機能です。少し離れた位置や濡れた手でも、画面を操作することができます。

- ・本機能が起動中は、画面が表示されたままとなり、インカメラが手を検出できる状態を保つため、電池の消費が早くなります。

❖ハンドジェスチャーコントロール利用時のご注意

- ・ハンドジェスチャーコントロールを利用する際は、卓上ホルダに置くなど固定させた状態でご利用ください。
- ・手が正しく検出されるように、次の点にご注意ください。
 - インカメラと手の距離が約40cm～約60cm、角度がインカメラの中心から上下に約15度、左右に約20度となるようにしてください。
 - インカメラに向かって手を上下左右に振ってください。



例: 手を上下に振る

- ハンドジェスチャーコントロール操作を行った際は、ハンドジェスチャーコントロールを受け付けた方向を示すマークが表示されます。マークが表示されている間は、マークの示す方向以外のハンドジェスチャーコントロール操作は無効となります。マークが消えてから操作してください。
- 左右どちらの手でも操作できますが、両手で同時に操作できません。
- 手袋をしたまま操作すると、正しく検出されない場合があります。
- 使用する環境（部屋の明るさ、着衣、背景、光源など）によっては、手を正しく検出できない場合があります。
- ・手の振りかたなどによっては、正しく検出できない場合があります。
- ・カメラの近くで大きな動作をすると、誤って検出される場合があります。
- ・本機能を起動すると、【画面の自動回転】（→P54）の設定が無効となり、オートローテーションが動作しません。インカメラが画面の上に位置する状態で操作してください。また、本機能終了後もオートローテーションが無効のまとなるため、再度利用する場合は【画面の自動回転】をチェックし直してください。
- ・カメラ/ビデオ撮影時は同時に利用できません。カメラを起動すると、本機能は終了します。
- ・DLNA対応機器連携で利用する場合は、プレーヤーがサーバーと接続されている必要があります。

◆利用できる主な機能と操作

手を上下左右に振ることで、次のような操作ができます。
・他の機能でも同等に操作できる場合があります。

■ プラウザ

上下左右：画面の縦横スクロール

■ ワンセグ

上下：音量調節

左右：チャンネル切り替え

■ DLNA

上下：音量調節

左右：動画のスキップ

■ ギャラリー

左右：画像表示中に前後の画像に切り替え

◆ ハンドジェスチャーコントロールの利用

ハンドジェスチャーコントロールとアプリケーションを同時に起動しておく必要があります。

- ・アプリケーションを起動する前後どちらでもハンドジェスチャーコントロールを起動できます。

1 ステータスバーの時計から右側をタップ
→→ハンドジェスチャーコントロールをON/OFFにする

ONにするとステータスバーにが表示されます。

2 アプリケーションでハンドジェスチャーコントロールの操作を行う

- ・スリープモードにすると、ハンドジェスチャーコントロールはOFFになります。

画面表示／アイコン

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

-  : 新着Gmail
-  : 新着Eメール
-  : Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
-  : USB接続中
-  : データのアップロード完了
-  : データのダウンロード完了
-  : Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了
-  : イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
-  : イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
-  : ワンセグ受信中
-  : ワンセグ録画中
-  : GPS測位中
-  : VPN接続

■ 主なステータスアイコン

- 機内モード
- Wi-Fi接続中
- Bluetooth機能オン
- 要充電
- 電池残量がほとんどない
- 電池残量が少ない
- 電池残量十分
- 充電中
- マナーモード（通常マナー）
- マナーモード（サイレントマナー）
- マナーモード（アラームONマナー）
- マナーモード（オリジナルマナー）
- ハンドジェスチャーコントロールオン

◆ 通知パネル

通知パネルを表示すると、アイコンで本端末の状態を確認したり、予定などの通知を確認したりできます。

1 ステータスバーの時計から右側をタップ



- ・各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- ・通知に[X]が表示されているときは、[X]をタップすると通知を削除できます。
- ・設定パネル→P29
- ・通知パネルを閉じるには、パネル以外のエリアをタップします。
- ・ステータスバーの通知アイコンをタップすると、タップしたアイコンの詳細を確認したり設定を変更したりできます。

◆ 設定パネル

設定パネルでWi-Fi、Bluetooth、GPS機能など各種設定を行ったり、設定メニューを表示したりできます。

1 ステータスバーの時計から右側をタップ



2 設定を行う、または【設定】をタップして設定メニューを表示

- ・設定メニュー→P49
- ・設定パネルを閉じるには、パネル以外のエリアをタップします。

◆ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、[ディスプレイ] の [スリープ] の設定に従って自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。



スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

- ロック画面→P30

手動でスリープモードにする：

◆ロック画面が表示されたら

1 ロック画面の を までスライド

ロックが解除されます。



✓お知らせ

- ロック画面の を までスライドするとカメラが起動します。
- 画面ロックの認証設定が無効の場合は、ロック画面で通知パネルと設定パネルを表示できます。

◆タスク管理

をタップするなどしてアプリケーションの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリケーションが実行中の状態になることがあります。タスクマネージャを起動すると、実行中のアプリケーションを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 をロングタッチ

タスクマネージャが起動して、実行中のアプリケーションが表示されます。

- をタップすると、最近使用したアプリケーションが表示されます。サムネイルをタップするとアプリケーションを起動できます。サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。

2 目的の操作を行う

アプリケーションの表示：[表示]

アプリケーションの終了：[終了] / [すべて終了]

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。□をタップしていつでも呼び出すごできます。

◆ ホーム画面の見かた



- ① Google検索／音声検索→P88
- ② アプリケーションメニューを表示→P32
- ③ ホーム画面のカスタマイズ画面を表示→P31
- ④ カスタマイズエリア
- ⑤ 左右にあるホーム画面の数
- ⑥ 直前の画面に戻る、アプリケーションの終了
- ⑦ ホーム画面を表示
- ⑧ タスク管理→P30
- ⑨ ステータスバー→P28

◆ 画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置したり、壁紙を変更したりできます。また、画面のカラーテーマやスタイルを変更することもできます。

❖ ウィジェットやショートカットの追加

1 ホーム画面で+

- 2 [ウィジェット]／[アプリ]／[その他]→追加したい画面に項目をドラッグ
- ホーム画面に項目が貼り付けられます。
 - 貼り付けた項目をロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。

❖ ショートカットやウィジェットの削除

1 左右にフリックしてカスタマイズしたいホーム画面を表示

2 削除するショートカットやウィジェットをロングタッチ→そのまま削除にドラッグ→アイコンが赤色に変わったら指を離す

◆ ホーム画面の壁紙の変更

1 ホーム画面で+ 2 [壁紙]→[ギャラリー]/[ライブ壁紙]/ [壁紙]→画像を選択

- ・[ギャラリー]をタップして画像を選択した場合は、トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠をドラッグしてサイズを指定した後、[トリミング]をタップします。
- ・[ライブ壁紙]をタップして画像を選択した場合は、[壁紙に設定]をタップして設定します。画像によっては、[設定]をタップして画像の詳細設定ができます。

◆ カラーテーマやスタイルの変更

1 ホーム画面で+ 2 [スタイル]→[カラーテーマ変更]/[スタイル変更]→カラーテーマやスタイルを選択

- ・[スタイル変更]をタップした場合は、[+新規作成]をタップしてスタイルを作成・設定することができます。
- ・スタイルの選択画面でスタイルをロングタッチし、そのまま[削除]にドラッグしてアイコンが赤色に変わったら指を離し、[はい]をタップすると削除できます。

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変更したりできます。

- ・アプリケーションによっては、起動時に「画面適合ズーム」の確認画面が表示されます。[OK]をタップすると、アプリケーションの表示サイズが本端末に合わせられ、次回から確認画面は表示されません。ステータスバーの■をタップすると、表示サイズを変更できます。

◆ アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で+ アプリ

アプリケーションメニューが表示されます。

2 左右にフリックしてページ切り替え

ソートして表示：[ソート]→[名前順]/[ダウンロード順]/[利用頻度順]/[カスタマイズ順（編集に従う）]

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!Input powered by ATOKでの入力について説明します。

◆ キーボードの使いかた

テンキー-キーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボード、50音キーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。

■ テンキー-キーボード

入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、ジェスチャー入力Pro、フリック入力の4種類の入力方式を使用できます。→P35



■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力します。



■ 50音キーボード

50音順、アルファベット順で入力します。



英数入力モード時

- 変換候補表示領域：文字を入力したときに変換候補を表示、選択
 - 変換候補の表示領域を左右にスライドすると隠れている候補を表示できます。キーボードによっては、変換候補の下に、確定前の文字列が表示されます。
 - 文字入力欄によっては、変換候補が表示されない場合があります。

- ② 直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
 テンキーキーボードでの入力で、キーに割り当てられた文字を逆順に表示
 カーソルを左に移動
 カーソルを上下に移動
 入力モードの切り替え (かな・英字・数字) / (かな・英字) / (かな・英数字)
 - ロングタッチすると、NXinputメニューで ATOKの設定や単語登録ができます。
 - 現在の設定は水色で表示されます。
 ひらがな / カタカナ: ひらがな／カタカナの切り替え
 全: 英字入力時の大文字と小文字の切り替え
 - 50音キーボードではタップするたびに、大文字 → 大文字固定 → 小文字に切り替わります。
 - 各キーを上にクリックしても、大文字で入力できます。
 Cap Lock: 大文字固定に設定／解除
 Num Lock: 数字記号入力モードに切り替え
 - 各キーを下にクリックしても、キーに割り当てられている数字や記号を入力できます。
 頭文字、記号、定型文、文字コードの入力、パスワードマネージャーや連絡先の引用入力のメニューに切り替え
 - キーボードの非表示の操作にも利用します。
 半角: かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択
 全角: カタカナ／数字／英数／年月日（全角／半角）などに変換
③ カーソルの左側／右側の文字を削除
 カーソルを右に移動
 小文字: 小文字・濁点・半濁点／大文字の切り替え
 - 現在の設定は水色で表示されます。
 全角 / 半角: 全角／半角の切り替え
 - 現在の設定は水色で表示されます。
 文字の変換／空白の入力
 Next / Prev: 次の入力項目にカーソル移動／確定または改行
 - この他にも、 など、機能が変化する場合があります。
 手書きキーボードで左右の表示枠に1文字分だけ移動
- ④ テンキー / QWERTY / 手書き / 50音 : キーボードの切り替え
 (.) / ,!?: 定型文 : 顔文字／記号／定型文の入力
 音入力の起動
 ロングタッチでテンキーキーボードの位置の切り替え
 - テンキーキーボードの上で2本の指で移動方向にドラッグしても位置を切り替えられます。
 ロングタッチでQWERTYキーボードの分割キーボードと通常キーボードの切り替え
 - QWERTYキーボードの上でピンチアウト、ピンチインしても切り替えられます。
 手書き : ロングタッチで手書きキーボードの枠数の切り替え
※ 利用中の機能は水色で表示されます。
- ⑤ キーボードの非表示
⑥ キーボードの各種設定
⑦ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
 - 入力確定していない文字をタップすると、補正候補の文字が表示されます。文字をタップすると入れ替えることができます。
 - 右端の枠に文字を書くと、自動的にスクロールして左端の枠に移動します。
 - QWERTYキーボードで、左右にキーボードを分けたときは中央に表示されます。
 - スライドすると隠れた入力領域を表示できます。
- ## ◆ キーボードの表示／非表示
-
- ### ■ キーボードの表示
- #### 1 文字入力欄を選択
- ### ■ キーボードの非表示
- #### 1 キーボード表示中に
- をタップして、ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライドし、 に切り替わってから、再度 にスライドして指を離しても非表示にできます。

◆テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- ・ソフトウェアキーボードの設定の入力方式で選択します → P37

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで繰り返してタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- ・濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ ジェスチャー入力Pro

ジェスチャーガイドの表示／非表示やジェスチャーガイドが表示されるまでの速さを設定できます。

- ・設定方法は [ソフトウェアキーボードの設定] をご覧ください)。→P37

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- ・濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと「**タップ**」を1回または2回タップします。

◆ 便利な入力機能

記号や定型文の入力を作成したり、連絡先やパスワードマネージャーのデータを引用したりできます。また、音声で文字を入力することもできます。

◆顔文字／記号パレットで入力

1  → (顔文字) /  (記号)

- ・キーボード上に  /  が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。

2 カテゴリーを選択→アイテム一覧から顔文字／記号を選択

- ・パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
 - ・アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
 - ・パレットの左上にある「履歴」をタップすると最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖定型文／文字コード表から入力

1 → [選択] / [文字コード]

- キーボード上に 定型文 が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。



2 カテゴリーを選択→一覧から定型文または文字を選択

❖他のデータから引用して入力

連絡先やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。

- パスワードマネージャー→P45

1 →

2 目的の操作を行う

- 連絡先から引用：[電話帳／ATOKダイレクト] → 連絡先リストで名前を選択→引用する項目にチェック→[OK]

- パスワードマネージャーから引用：[パスワードマネージャー] →認証操作→タイトルを選択→「ID（アカウント）」欄または「パスワード」欄の

- 「ID（アカウント）」欄や「パスワード」欄の文字をロングタッチすると、クリップボードにコピーできます。

❖音声文字入力

音声を文字に変換して入力します。

- ネットワークに接続されていない場合は、利用できません。

1 文字入力中に → 言葉を発声



2 認識結果候補一覧から文字を選択

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で「やり直す」をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆Androidキーボードに切り替え

Androidキーボードに切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語のキー入力に対応していません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[デフォルト]

2 [英語(米国)]Androidキーボード

✓お知らせ

- ATOKキーボードに戻すには、操作2で[NX!input]を選択します。

◆ ATOKの設定

❖ソフトウェアキーボードの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[NX!input]の■→[ソフトウェアキーボード]

2 各項目を設定

キー操作音：チェックを付けると、キーをタップしたときに操作音が鳴ります。

キー操作パイプ：チェックを付けると、キーをタップしたときに端末が振動します。

入力方式^{※1}：テンキーキーボードでの入力方式を設定します。

トグル入力^{※1}：[ケータイ入力以外でもトグル入力する]にチェックを付けると、ジェスチャー入力やフリック入力の使用時にもトグル入力できます。[自動カーソル移動を行う]にチェックを付けると、同じキーをタップ中に一定時間タップしないとカーソルが自動的に右へ移動し、次の文字の入力待ち状態となります。また、カーソルが移動するまでの時間（タップ間隔）を設定できます。

文字削除キー^{※1}：[BS]を選択すると、■をタップしたときカーソルの左側の文字が削除されます。[CLR]を選択すると、■をタップしたときカーソルの右側の文字が削除されます。

ジェスチャーガイド^{※1}：ジェスチャー入力Pro設定中に、「ジェスチャーガイドを表示する」のチェックを外して[OK]をタップすると、ジェスチャーガイドが表示されなくなります。チェックを付けると、キーをタップしてからジェスチャーガイドが表示されるまでの速さを設定できます。

フリックガイド^{※1}：入力方式がフリック入力のときに、チェックを付けるとフリックガイドを表示します。

フリック感度^{※1}：入力方式がフリック入力のときに、フリック入力の感度を調整します。

切り替え時は英字^{※2}：チェックを付けると、テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときの入力モードを半角英字にします。英字は確定入力^{※2}：チェックを付けると英字入力時に1文字ごとに確定して入力します。

自動スペース入力^{※2}：チェックを付けると、英字入力モードで単語を確定したときに、自動的にスペースを挿入します。

縦画面の数字キー表示^{※2}：チェックを付けると、QWERTYキーボードを縦画面で表示したときに数字キーを表示します。

横画面の数字キー表示^{※2}：チェックを付けると、QWERTYキーボードを横画面で表示したときに数字キーを表示します。

上書き手書き入力^{※3}：QWERTYキーボードや50音キーボードが表示されている状態で手書き入力ができるようにするかを設定します。

上書き手書き枠数（縦画面）^{※3}：縦画面で手書き入力をする場合の枠数を設定します。

上書き手書き枠数（横画面）^{※3}：横画面で手書き入力をする場合の枠数を設定します。

確定速度^{※3}：手書き入力時の文字の確定速度を設定します。

手書きジェスチャー^{※3}：1文字削除する操作と空白を入力する操作をジェスチャー表示します。

※1 テンキーキーボードの設定です。

※2 QWERTYキーボードの設定です。

※3 手書き入力の設定です。

❖ 入力・変換に関する設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[NX!input]の■→[入力・変換]

2 各項目を設定

推測変換：チェックを付けると、推測変換の変換候補を表示します。

未入力時の推測候補表示：推測変換が有効のときにチェックを付けると、次の文字を入力する前に入力予測候補を表示します。

スペースは半角で出力：日本語入力時にスペースを半角で入力します。

❖ 学習データの初期化

一度入力した語句は自動的に記憶され、推測変換の変換候補として表示されます。学習データの初期化を行うと、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[NX!input]の■→[入力・変換]

- 2 [学習データの初期化]→[OK]

❖ キーボードのデザイン変更

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[NX!input]の■→[デザイン]

2 各項目を設定

テーマ：ATOKソフトウェアキーボードのデザインテーマを設定します。

シンプルテスト：チェックを付けるとキーボードのデザインをシンプルにします。

キーサイズ（縦画面）：縦画面表示のときのキーボードのサイズを設定します。

キーサイズ（横画面）：横画面表示のときのキーボードのサイズを設定します。

文字サイズ：変換候補の文字サイズを設定します。

表示行数（縦画面）：縦画面表示のときの変換候補の行数を設定します。

表示行数（横画面）：横画面表示のときの変換候補の行数を設定します。

❖ ユーザー辞書について

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

■ ユーザー辞書に単語を登録

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[NX!input]の■→[ツール]→[辞書ユーティリティ]

- 2 ■→[新規登録]

- 3 「単語」に登録する単語を入力

- 4 「読み」に読みかたを入力

- 5 品詞を選択→[登録]

■ 登録単語の修正

1 辞書ユーティリティ画面で単語を選択

2 内容を修正→[修正]

■ 登録単語の削除

1 辞書ユーティリティ画面で単語をロングタッチ→[削除]→[はい]

全件削除する：辞書ユーティリティ画面で [] → [全削除] → [はい]

■ 登録単語をmicroSDカードに保存

1 辞書ユーティリティ画面で [] → [一覧出力]

2 「場所」欄で [sdcard] → 保存するフォルダを選択

3 ファイル名を入力→[OK]→[実行]→[閉じる]

✓お知らせ

- microSDカードに保存した単語データを読み込むには、辞書ユーティリティ画面で [] → [一括登録] → 「場所」欄で [sdcard] → フォルダを選択→ファイルを選択→[OK] → [登録] → [閉じる] をタップします。文字入力の確定時に自動的に学習された単語も登録する場合は、「自動登録単語は含めない」のチェックを外してください。

❖定型文の追加

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[NX!input]の [] → [ツール]→[定型文ユーティリティ]

定型文一覧画面が表示されます。

- [] → [カテゴリー] → [] → [新規作成] をタップすると、新規カテゴリーを追加できます。

2 [] → [新規作成]

3 定型文を入力→「カテゴリー」欄でカテゴリーを選択→[登録]

❖定型文の編集

■ 定型文の本文編集

1 定型文一覧画面で定型文を選択

2 内容を修正→[登録]

- 新規に作成した定型文の本文を編集すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。

■ 定型文のタイトル変更

1 定型文一覧画面で定型文をロングタッチ

2 [タイトル変更]→内容を修正→[OK]

■ 定型文のカテゴリー変更

- 1 定型文一覧画面で定型文をロングタッチ
- 2 [カテゴリー移動]→移動先のカテゴリーを選択

■ 定型文の削除

- 1 定型文一覧画面で定型文をロングタッチ
- 2 [削除]→[はい]

✓お知らせ

- 定型文データをお買い上げ時の状態に戻すには、定型文一覧画面で [初期化] → [初期化] をタップします。

❖ ATOK設定の初期化

ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 アプリケーションメニューで [設定] → [言語と入力] → [NX!input] の [初期化] → [設定の初期化] → [OK]

✓お知らせ

- 設定を初期化しても、学習データやユーザー辞書の単語、追加した定型文は消去されません。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイトやドキュメント、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り

1 テキスト上をロングタッチ

選択されたテキストがハイライト表示されます。

- [すべて選択] をタップして選択することもできます。
- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップするか、[完了] をタップします。

2 [コピー]／[切り取り]

❖ テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動→テキスト上をロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にクリップボードのテキストが貼り付けられます。

- 範囲選択してから [貼り付け] をタップすると、貼り付けたテキストで選択範囲が上書きされます。

ロック／セキュリティ

◆セキュリティロック

電源を入れたときや、スリープモードから復帰したときに、画面をロックしたり、認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぐことができます。また、セキュリティ解除方法を設定すると、画面ロック以外の機能でも認証操作を利用できます。

❖画面ロックの利用設定

画面ロックを利用するかを設定します。

- ・チェックを外すと、ロック画面（→P30）は表示されません。また、画面ロックの認証操作も利用できません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[画面ロックを利用する]

- ・[画面ロックの認証設定]にチェックが付いている場合は、[画面ロックを利用する]のチェックを外すと、認証操作の後に、[画面ロックの認証設定]のチェックも外れ、選択できなくなります。

❖画面ロックの認証設定

スリープモードから復帰したときに、画面で認証操作をするように設定します。

- ・画面ロックの認証設定を有効にするには、あらかじめ画面ロックの利用とセキュリティ解除方法を設定する必要があります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[画面ロックの認証設定]→認証操作

❖セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除や、パスワードマネージャーなどで使用する認証操作の種類を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- ・初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 解除方法を選択

パターンの入力で解除：[バターン] →垂直、水平、対角線方向に最低4つの点を結ぶようにスライドしてバターンを入力→ [次へ] →同じパターンを入力→ [確認]

- ・初めて設定するときは、パターン例が表示されます。

暗証番号の入力で解除：[暗証番号] →4～16桁の暗証番号を入力→ [次へ] →暗証番号を再入力→ [OK]

パスワードの入力で解除：[パスワード] →アルファベットを含む4～16桁のパスワードを入力→ [次へ] →パスワードを再入力→ [OK]

指紋認証と他の認証を併用して解除：[指紋] →2件以上指紋登録があることを確認して [OK] → [バターン] / [暗証番号] / [パスワード] → 画面の指示に従ってバターン／暗証番号／パスワードを設定→ [OK]

- ・指紋登録がない場合は、画面の指示に従って2件以上の指紋登録をする必要があります。

すでに指紋を登録している場合で、初めてセキュリティ解除方法を設定する場合は、[指紋]をタップした後に指紋認証の操作が必要です。

指紋認証のみで解除：[指紋] → [認証なし] → [OK] → [OK]

- ・指紋登録がない場合は、画面の指示に従って2件以上の指紋登録をする必要があります。

顔認証で解除：[顔認証] → [セットアップ] → [続行] → ガイド枠に顔を合わせる → [次へ] → バックアップのロックを選択→セキュリティ解除方法を設定→ [OK]

❖お知らせ

- お買い上げ時は「設定なし」になっていますが、一度セキュリティ解除方法を設定すると、「設定なし」に戻すことはできません。
- 設定したパターン、暗証番号、パスワード、顔認証の内容は、アプリケーションメニューで [設定] → [セキュリティ] → [パターンの変更] / [暗証番号の変更] / [パスワードの変更] / [顔認識の精度を改善] をタップして変更できます。
- 画面ロック解除時にパターンを表示せたくない場合は、アプリケーションメニューで [設定] → [セキュリティ] → [パターンを表示する] をタップしてチェックを外します。
- パターン、暗証番号の入力時、指紋認証時、顔認証のバックアップのロック解除時に振動させたい場合は、[設定] → [セキュリティ] → [タッチ操作バイブ] をタップしてチェックを付けます。
- パスワード入力時に振動させたい場合は、「ソフトウェアキーボードの設定」でキー操作バイブにチェックを付けます。→P37
- 顔認証で設定した場合、画面ロックのみ顔認証でロック解除します。画面ロックの解除以外のセキュリティ解除では、バックアップのロックで選択した解除方法で操作します。

❖画面の自動ロック

- 画面の自動ロックを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[自動ロック]→時間を選択

スリープモードになってから設定した時間が経過すると、自動的に画面ロックがかかります。

❖画面の手動ロック

1 [○]

スリープモードになり、画面ロックがかかります。

❖画面ロックの解除

1 スリープモード中に [○]

2 セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作

- [パターン] の場合：パターンを入力
- [暗証番号] の場合：暗証番号を入力→ [OK]
- [パスワード] の場合：パスワード入力欄をタップ→パスワードを入力
- [指紋] の場合：指紋センサー上を登録した指でスライド
- ・指紋認証ができないときは、他の解除方法のボタンをタップして認証操作ができます。
- [顔認証] の場合：ディスプレイに顔を向ける

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいセキュリティ解除方法を設定してから解除してください。

- ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にやり直すことができます。
- Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

1 ロック解除画面で[パターンを忘れた場合]/[暗証番号を忘れた場合]/[パスワードを忘れた場合]→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいセキュリティ解除方法を設定

◆所有者情報の表示

ロック画面に所有者情報を表示することができます。

- 1 アプリケーションメニューで【設定】→【セキュリティ】→【所有者情報】→【ロック画面に所有者情報を表示】にチェック

2 所有者情報を入力

◆指紋認証機能

指紋認証機能は、指を指紋センサーでスライドして行う認証操作です。

- ・指紋認証は、画面ロックの解除やパスワードマネージャーなどで利用します。

◆指紋認証機能利用時の留意事項

指紋認証機能利用時の留意事項は次のとおりです。

- ・本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- ・指紋の登録には同じ指で3回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- ・認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れたり、汗をかいたりしている
 - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
 - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
 - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 磨耗して指紋が薄い

- 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

- ・指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てるながら、矢印方向（端末を横向きに持った状態で左方向または右方向）に、指紋センサーの領域を通過するまでスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- ・スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- ・親指は指紋の渦の中心がすれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- ・指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- ・指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- ・端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- ・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかつたことによって生じるいかなる損害に関してても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆指紋センサー利用時の留意事項

- 指紋センサー利用時の留意事項は次のとおりです。
- ・指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつづいたりしないでください。
- ・指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がひびけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ・次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたる
 - 引っかいたり、先の尖ったものでつづいたりする
 - 爪や金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズに入る
 - 泥などで指紋センサー表面にキズに入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- ・ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露などで、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- ・次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- ・指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがあります、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- ・静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

◆指紋登録

- 指紋認証に使う指の指紋を登録します。
- ・指紋認証を利用するには、2件以上の指紋登録が必要です。最大10件登録できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[指紋設定]

- ・セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

2 登録する指を選択→メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド

- ・2件目も同様の操作で登録します。
- 登録した指紋の削除：削除する指を選択→【はい】
- ・セキュリティ解除方法が、指紋認証に設定されているときは、登録件数が2件の場合は削除できません。

3 [OK]

◆指紋認証の操作

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上に登録した指でスライド

- ・正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

◆パスワード表示

パスワードを入力するときに、入力した文字を表示するように設定できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[パスワードを表示する]にチェック

◆ パスワードマネージャー

- ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して、登録した内容を引用して入力できます。
- ・パスワードマネージャーを利用するにはセキュリティ解除方法を設定する必要があります。
 - ・最大50件登録できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[パスワードマネージャー]

2 認証操作

3 →各項目を設定→[OK]

パスワードの変更：パスワードタイトル一覧から

 タイトルを選択→→各項目を変更→[OK]

パスワードの削除：パスワードタイトル一覧から

 タイトルを選択→→[OK]

パスワードの全件削除：→[全件削除]→

[OK]

◆ 提供元不明のアプリケーションのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

- ・本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]→注意文を確認後に[OK]

- ・設定を解除するには、[提供元不明のアプリ]をタップしてチェックを外します。

◆ 認証情報の管理

セキュリティ保護されたWi-FiネットワークやVPN、ブラウザに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。

❖ 信頼できる認証情報や証明書の表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

❖ 認証情報や証明書のインストール

microSDカードから認証情報や証明書をインストールします。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SDカードからインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖ 認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書を消去します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[認証ストレージの消去]

2 [OK]

◆ 端末の暗号化

本端末の紛失や盗難により、他人がパソコンから端末内のデータを見られないように、各種データを暗号化して保護します。

- ・暗号化するには、セキュリティ解除方法に「暗証番号」または「パスワード」を設定する必要があります。
- ・暗号化した場合は、電源を入れたときに復号化されます。
- ・暗号化する前に、必ず画面に表示される説明を確認してください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[端末の暗号化]

2 [携帯端末を暗号化]→認証操作→[携帯端末を暗号化]

✓お知らせ-----

- ・パスワード入力画面の?!をタップして「入力言語」／「Androidキーボードの設定」を選択後にパスワード入力画面に戻るには、本端末を再起動してください。なお、設定を変更して再起動しても、「入力言語」／「Androidキーボードの設定」の変更は反映されません。

連絡先

連絡先の使いかた

連絡先には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡できます。

1 アプリケーションメニューで[連絡先]



連絡先画面

- ① [■] すべての連絡先
表示する連絡先のグループを選択します。
- ② [Q] 連絡先を検索
タップしてキーワードを入力し、連絡先を検索します。
- ③ [★]
タップすると連絡先のグループ「スター付き」に登録されます。
- ④ [+] 新規
連絡先を新規登録します。
- ⑤ [✎]
連絡先を編集します。
- ⑥ [trash bin]
連絡先のサブメニューを表示します。
- ⑦ 連絡先リスト
連絡先を選択できます。連絡先リスト上でタップすると、インデックスが表示されます。

⑧ 名前

タップして個人情報画面に情報を表示します。

⑨ インデックスバー

個人情報画面

選択した相手の個人情報を表示します。項目をタップして、Eメール送信ができます。

⑩ インデックス

文字や名前を選択して連絡先を検索できます。連絡先リストをタップ→インデックスの文字を選択→そのまま次の階層の文字までスライド→そのまま登録済みの名前までスライドすると、選択した連絡先が連絡先リストの先頭に表示されます。ただし、登録件数が少ないと先頭に表示されない場合があります。

❖ 連絡先リストに表示する連絡先の設定

連絡先リストに表示するグループを変更したり、特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 連絡先画面で [■] すべての連絡先 → [カスタマイズ] → 表示する連絡先を設定

❖ 連絡先のサブメニューについて

連絡先画面で [trash bin] をタップして、プロフィール表示、アカウント設定、連絡先のインポート／エクスポート、グループの追加、連絡先の1件送信、連絡先の削除ができます。

◆ 連絡先をグループごとに表示

登録時に設定したグループ別に連絡先を表示できます。

1 連絡先画面で [■] すべての連絡先 → グループを選択

❖ グループの新規作成

連絡先のサブメニューから、グループの作成、グループ名の変更、グループの削除ができます。グループはGoogleアカウント等、グループに対応したアカウントでご利用いただけます。

- 1 連絡先画面で → [グループを追加] → 必要に応じてアカウントを選択 → グループ名を入力 → [OK]

グループ名の変更：連絡先画面で

- グループを選択 → → [グループ名を変更] → グループ名を変更 → [OK]

グループの削除：連絡先画面で

- グループを選択 → → [グループを削除] → [OK]

◆ 連絡先を登録

- 1 連絡先画面で → 必要に応じてアカウントを選択 → 各項目を設定 → [完了]

◆ 連絡先の編集

- 1 連絡先画面で 編集したい連絡先を選択 → → 変更したい項目を入力 → [完了]

◆ 連絡先の削除

- 1 連絡先画面で 削除したい連絡先を選択 → → [連絡先を削除] → [OK]

・連絡先画面で → [連絡先を選択削除] をタップすると、削除したい連絡先を選択して削除が可能です。[全て選択] をタップすると、全件削除できます。

◆ 連絡先のインポート／エクスポート

- 1 連絡先画面で → [インポート／エクスポート] → 項目を選択 → それぞれの操作を行う

SDカードからインポート：microSDカードに保存されている連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

SDカードにエクスポート：「プロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードに全件保存します。

表示可能な連絡先を全件送信：連絡先データをBluetooth通信やF-LINKもしくはメールに添付して全件送信します。

プロフィールの編集

ご自身の情報を入力、編集できます。

- 1 アプリケーションメニューで [連絡先] → → [プロフィール] → → 各項目を設定 → [完了]

各種設定

設定メニュー

アプリケーションメニューで【設定】を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

初期設定：本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

■ 無線とネットワーク

Wi-Fi：Wi-FiネットワークとWi-Fiの詳細設定などを行います。

Wi-Fi簡単登録：簡単な操作で無線LANアクセスポイントに接続できます。

Bluetooth：Bluetooth機能の設定を行います。

データ使用：Wi-Fiネットワークでのデータ量の使用状況を表示します。

その他：機内モードなどの設定を行います。

■ 端末

音・振動：マナーモードやバイブレーション、着信音などの設定を行います。

ディスプレイ：画面の明るさやフォントなどの設定を行います。

マルチメディア：動画や音楽を再生するときのDolby Mobile機能を設定します。

ストレージ：空き容量表示やmicroSDカードのデータ消去などを行います。

電池：電池残量や電池使用量などを表示します。

NX!エコ：画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えます。

アプリケーション：アプリケーションに関する設定を行います。

■ ユーザー設定

アカウントと同期：アカウントや同期に関する設定を行います。

位置情報サービス：現在地情報の設定やGPS機能などの使用について設定します。

セキュリティ：画面ロックやパスワードなどの設定を行います。

言語と入力：使用言語やキーボードの設定、テキスト読み上げの設定などを行います。

バックアップとリセット：データの初期化などを行います。

■ システム

日付と時刻：日付や時刻に関する設定を行います。

ユーザー補助：ユーザー操作を補助する設定を行います。

開発者向けオプション：USBデバッグや擬似ロケーション、ユーザーインターフェース、アプリケーションなどのソフトウェア開発者用機能の設定を行います。

端末情報：本端末の各種情報を表示します。

✓お知らせ

・初期設定については「初期設定」(→P21)を、位置情報サービスについては「位置情報サービスの設定」(→P77)を、セキュリティについては「ロック/セキュリティ」(→P41)をご覧ください。

・[開発者向けオプション] のUSBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/>

・[開発者向けオプション] のUSBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
<http://developer.android.com/>

無線とネットワーク

- Bluetooth機能については「Bluetooth®通信」をご覧ください。→P66

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時に使用しないでください。

また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近くで使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

■ 利用できるチャンネル

日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 アプリケーションメニューで【設定】

2 【Wi-Fi】を【ON】

- 設定パネルでもON/OFFを設定できます。

3 【Wi-Fi】→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、【接続】をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

❖ Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【Wi-Fi】→【スキャン】

❖ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【Wi-Fi】

2 【ネットワークを追加】

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは【なし】【WEP】【WPA/WPA2 PSK】【802.1x EAP】が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→【保存】

❖ Wi-Fiネットワークの切断

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]
- 2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

✓お知らせ

- Wi-FiをOFFにしてWi-Fiネットワークを切斷した場合、次回Wi-FiのON時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

❖ Wi-Fiの詳細設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]

2 ■→[詳細設定]

3 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するように設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面がオフになったときや充電しているときに、Wi-Fiを使用するかを設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

◆ Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：[AOSS方式] → アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：[WPS方式] → [プッシュボタン方式]／[PIN入力方式] → アクセスポイント側で操作

• プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK]をタップします。

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

◆ 機内モードの設定

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能(Wi-Fi、Bluetooth機能)が無効になります。ただし、Wi-FiおよびBluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[その他]→[機内モード]にチェック

◆ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護された一口カルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

❖ VPNの追加

1 アプリケーションメニューで[設定]→[その他]→[VPN設定]→[VPNネットワークの追加]

2 VPN設定の各項目を設定→[保存]

❖ VPNへの接続

1 アプリケーションメニューで[設定]→[その他]→[VPN設定]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

❖ VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択

3 VPN設定画面で接続中のVPNをタップ

◆ Wi-Fi Directの設定

Wi-Fi Direct対応機器どうしで接続ができます。

• 本機能は、PlayストアからWi-Fi Direct機能を利用するアプリケーションを入手し、インストールすることで利用できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[その他]→[Wi-Fi Direct]にチェック／チェックを外す

音・振動

◆ マナーモードの設定

マナーモードを設定／解除します。

• マナーモードの種類は変更できます。→P53

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・振動]→[マナーモード]

2 [マナーモードを有効]にチェック

ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P28

✓お知らせ

• マナーモード中でも、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音は鳴ります。

❖ マナーモードの種類を変更

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・振動]→[マナーモード]→[マナーモード選択]
- 2 項目を選択
 - 通常マナー：本端末から音を鳴らしません。
 - サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。
 - アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。
 - オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。

❖ オリジナルマナーを設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・振動]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]
- 2 [音量]
- 3 [メディア再生音量]/[アラーム音量]/[通知音量]
- 4 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]→
- 5 [バイブレーション]
- 6 [アラーム]/[通知]にチェック/チェックを外す

◆ 音量調節

メディア再生音、着信音／通知音、アラームの音量を調節できます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・振動]→[音量]
- 2 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

◆ 着信音／通知音／操作音／バイブレーションの設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・振動]
- 2 各項目を設定
 - マイク入力：ステレオイヤホン接続時の音声入力を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は「端末のマイク」を選択してください。
 - 通知音：通知音を設定します。
 - バイブレーションと着信音：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかどうかを設定します。
 - タッチ操作音：メニュー選択時の操作音のオン/オフを切り替えます。
 - 画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン/オフを切り替えます。
 - 充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
 - ロック解除時バイブ：ロック画面の ○ をスライドして解除したときに、振動でお知らせするかどうかを設定します。
 - タッチ操作バイブ：ホーム画面でロングタッチしたときなどのバイブレーションのオン/オフを切り替えます。

ディスプレイ

◆ロック画面の背景画像設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォトスクリーン]
- 2 [画像設定]→各項目を設定
 - ・[Flickr]／[Picasa]を選択した場合は、Flickr／Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。選択後は、「更新間隔」を設定します。
 - ・[更新間隔]で「[指定時刻]」を選択した場合は、「[更新時刻の指定]」を選択して時刻を指定します。

✓お知らせ

- ・「[更新時刻の指定]」で設定した時間は、画像の自動取得を開始する時間です。取得した画像が表示される時間ではありません。

◆画面の設定

❖画面の明るさ設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[画面の明るさ]
- 2 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]
 - ・周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、「[明るさを自動調整]」にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調節します。

❖画面の消灯時間設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]→時間を選択

❖画面の自動回転

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]
- 2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✓お知らせ

- ・カメラやビデオ録画など一部のアプリケーションは本設定に従いません。

❖画面の表示フォント設定

画面の表示フォントの種類やサイズを変更します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]
- 2 目的の操作を行う
 - フォント：[フォント]→フォントを選択→[OK]
 - フォントサイズ：[フォントサイズ]→サイズを選択

✓お知らせ

- ・画面によっては、電源を入れ直すとフォント設定が反映されます。
- ・アプリケーションやWebサイトによっては、フォント設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

マルチメディア

◆ Dolby Mobile設定

動画や音楽を再生するときのDolby Mobile機能の設定をします。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[マルチメディア]→[Dolby Mobile設定]
- 2 [動画ジャンル設定で使用]／[音楽ジャンル設定で使用]
- 3 [動画ジャンル設定]／[音楽ジャンル設定]でジャンルを選択

ステータスバーに図が表示されます。アイコンは設定するジャンルにより異なります。

✓お知らせ

- ・[エフェクト自動設定]は、お買い上げ時に[Playミュージック]のみで動作します。
- ・Dolby Mobileを設定した場合は、イコライザなどの他の音響機能を使用しないことをおすすめします。

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカード、USB接続した大容量記憶装置（USBマスマストレージ）の空き容量を確認します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]
 - microSDカードは「空き容量」の他に、アプリケーションが含まれる場合は「アプリケーション」の容量が表示されます。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

・操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]
 - SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は[OK]をタップします。
- 2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]
 - セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。
- 3 [すべて消去]

NX!エコ

電池残量や設定した時間に、画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えます。

◆ エコモードの設定

エコモードを設定／解除します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→各モードを[ON]

タイマー エコモード：設定した時間帯にエコモードになります。

電池残量 エコモード：設定した電池残量より少なくなるとエコモードになります。

今すぐ エコモード：選択後すぐにエコモードになります。

ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはエコモードの種類によって異なります。

✓お知らせ

- ・エコモードは①今すぐエコモード、②電池残量エコモード、③タイマー エコモードの優先順位で動作します。
- ・[充電時はエコモードを解除する]にチェックを付けると、充電中はエコモードが解除されます。
- ・お買い上げ時やOSバージョンアップ後は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、「電池残量エコモード」が起動しないことがあります。

❖ エコレベルの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→モード内の[エコレベル]

2 モードを選択→[決定]

[確認]をタップすると各レベルの設定値を確認できます。オリジナルの設定値に変更することもできます。→P56

❖ オリジナルエコレベルを設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→モード内の[エコレベル]

2 [オリジナルエコモード]→[編集]→各項目を設定→[完了]→[OK]

アプリケーション

◆ 本端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]

2 アプリケーションを選択

- ・すべての許可されている動作が表示されていない場合は、[すべて表示]をタップします。

◆ アプリケーションのデータやキャッシュの消去

- 1 アプリケーションメニューで【設定】→【アプリケーション】
- 2 アプリケーションを選択→【データを消去】／【キャッシュを消去】
 - ・【データを消去】の場合は【OK】をタップします。

◆ アプリケーションの削除

- Playストアから入手したアプリケーションは、Playストア画面から削除することをおすすめします。→ P76
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

- 1 アプリケーションメニューで【設定】→【アプリケーション】

- 2 アプリケーションを選択→【アンインストール】→【OK】→【OK】

◆ アプリケーションの無効化

- アプリケーションの無効化は、アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスで利用できます。無効化したアプリケーションはアプリケーション一覧に表示されず、起動もできなくなりますがアンインストールはされていません。

- 1 アプリケーションメニューで【設定】→【アプリケーション】

- 2 アプリケーションを選択→【無効にする】／【有効にする】

✓お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリケーションを有効にすることで正しく動作します。

アカウントと同期

◆ アカウントの追加

- 1 アプリケーションメニューで【設定】→【アカウントと同期】

- 2 【アカウントの追加】→アカウントの種類を選択→各項目を設定

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

✓お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- Picasaへのログイン用に設定しているGoogleアカウントを、本端末のGoogleアカウントとして登録してください。本端末にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaのアカウントを新規に取得しても、本端末のGoogleアカウントの同期項目にPicasaは表示されません。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。

◆ アカウントの削除

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→
■→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

◆ 自動同期の設定

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]

- 2 アカウントと同期画面の右上を[ON]

◆ 手動で同期を開始

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→
■→[今すぐ同期]

❖ 同期の中止

- 1 同期中に■→[同期をキャンセル]

言語と入力

- ATOKについては「ATOKの設定」をご覧ください。→P37

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[Language]→[English]

✓お知らせ-----

- アプリケーションによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
アプリケーションメニューで [Settings] →
[Language & input] → [言語] → [日本語]

◆ Androidキーボードの設定

Androidキーボードのキー操作音やテキストの自動修正などを設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[Androidキーボード]の
■→各項目を設定

❖ 単語を登録

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[ユーザー辞書]

- 2 [追加]→単語を入力→[OK]

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【言語と入力】→【音声検索】→各項目を設定

言語：Google音声検索時に入力する言語を設定します。

セーフサーチ：画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。

不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

◆ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度を設定します。

・お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【言語と入力】→【テキスト読み上げの出力】

2 【音声の速度】→速度を選択

バックアップと復元

◆ アプリケーションデータや各種設定

Googleのサーバーを利用して、アプリケーションデータや各種設定のバックアップ／復元を行います。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【バックアップとリセット】

2 【データのバックアップ】／【バックアップアカウント】／【自動復元】

データのバックアップ：アプリケーションデータや各種設定を保存します。

- ・画像や音楽などは保存できません。

バックアップアカウント：バックアップするアカウントを設定します。

自動復元：アプリケーションの再インストール時にバックアップデータを復元します。

◆ 画像や音楽などのデータ

本端末の内蔵メモリやmicroSDカードに、画像や音楽などのバックアップ／復元を行います。

1 アプリケーションメニューで【Backup】

2 【バックアップ】／【復元】

バックアップ：画像や音楽などのバックアップを行います。

復元：バックアップした画像や音楽などを復元します。

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[バックアップとリセット]→[データの初期化]→[内蔵ストレージ内のデータを消去]にチェック→[携帯端末をリセット]
 - ・セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。
 - ・[SDカード内データを消去]にチェックを付けると、microSDカード内のデータもすべて消去されます。

2 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- ・初期化中に電源を切らないでください。

✓お知らせ

- ・タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[日付と時刻]→各項目を設定
 - ・[日付と時刻の自動設定]のチェックを外すと、日付と時刻を手動で設定できます。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

- ・初めて起動したときは、ユーザー補助プラグインを入手するかの確認画面が表示されます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ユーザー補助]→各項目を設定

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[端末情報]

2 項目を確認

プロフィール：プロフィール情報の設定、確認を行います。

端末の状態：電池の状態、シリアルナンバーなどを確認します。

法的情報／認証：オープンソースライセンスやGoogle利用規約、認証ロゴを確認します。

モデル番号／Androidバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

メール／インターネット

Eメール

一般的プロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✓お知らせ-----

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で「手動セットアップ」をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking)：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で[...]→[設定]→[アカウントを追加]をタップします。

◆Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール] • 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、[CC／BCCを追加]をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、→ファイルを選択します。

6 >

✓お知らせ-----

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。
[統合ビュー]をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには、○

3 Eメールを選択

✓お知らせ

- ・アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知（→P62）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆Eメールに返信

- Eメールを表示→ / →[メールを作成します]→メッセージを入力→▶

◆Eメールを転送

- Eメールを表示→ →[To]→メールアドレスを入力→▶

◆Eメールを削除

- Eメール一覧を表示→メールにチェック→

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

- アプリケーションメニューで[メール]

- [設定]→[全般]

3 各項目を設定

自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。

メッセージの文字サイズ：文字サイズを設定します。

画像の自動表示を解除：オンライン画像の自動表示の設定を手動で表示するように設定解除します。

❖Eメールのアカウント設定

- アプリケーションメニューで[メール]

- [設定]→アカウントを選択

3 各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。

名前：名前を編集します。

署名：署名を登録します。

クリック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。

優先アカウントにする：Eメール作成時にこのアカウントを優先するかを設定します。

受信トレイの確認頻度：受信トレイの確認頻度を設定します。

添付ファイルのダウンロード：IMAPアカウントの場合、Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。

メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。

バイプレーション：Eメール受信時のバイブレーションの動作を設定します。

受信設定：受信サーバーについて設定します。

送信設定：送信サーバーについて設定します。

アカウントを削除：アカウントを削除します。

❖Eメールのバックアップ／復元

- アプリケーションメニューで[メール]

- [設定]→[バックアップ／復元]→[microSDへバックアップ]／[本体へ復元]→[開始]

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

❖ Gmailの更新

1 受信トレイで

本端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

Google トーク

Google トークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogle トークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Google トークを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Google トーク起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ オンラインチャット

❖ Google トークの起動

1 アプリケーションメニューで[トーク]→ログインする

友だちリストが表示されます。

- Google トークの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
Google トークの友だちリストで → [ヘルプ]

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、Wi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- ・拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：画面をフリックしてズームコントロールを表示します。①で拡大し、②で縮小します。

- ・現在表示しているWebページの拡縮率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]

2 Webページ最上部にスライド→アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 [Go]／候補を選択

◆ 新しいタブを開く

- ・最大16つのタブを開くことができます。

1 Webサイトを表示

- ・Webサイトの表示方法→P64

2 →[新しいタブ]／[新しいシークレットタブ]

- ・シークレットタブでWebサイトを表示中はタブにが表示されます。

切り替え：タブを選択

閉じる：タブを選択→

✓お知らせ

- ・Webサイト表示中にをタップしても新しいタブを開けます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→→[履歴]

2 履歴の種別を選択

- ・よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、「よく使用」をタップします。

3 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してすばやく表示

❖ ブックマークの登録

1 Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→

ブックマークの詳細情報が表示されます。

2 [OK]

❖ ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中にWebページ最上部に
スライド→

2 ブックマークを選択

- 編集：ブックマーク画像をロングタッチ→【編集】
→各項目を設定→【OK】
削除：ブックマーク画像をロングタッチ→【削除】
→【OK】

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、
次の操作ができます。

URLの場合

- ・タップ：Webサイトを開きます。
- ・ロングタッチ：URLをコピーできます。

電子メールアドレスの場合

- ・タップ：メールを作成できます。
- ・ロングタッチ：メールアドレスをコピーできます。

電話番号の場合

- ・ロングタッチ：電話番号を連絡先に追加、コピーで
きます。

ファイルの場合

- ・タップ：ファイルを閲覧、保存できます。
- ・ロングタッチ：ファイルを保存できます。

✓お知らせ

- ・保存したファイルは、Document Viewer (→P88)
などで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を 保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロング
タッチ)→【画像を保存】

- ・保存した画像は、ギャラリー (→P73) で確認
できます。

◆ ブラウザの設定

1 Webサイト表示中に■→【設定】→【全般】
／【プライバシーとセキュリティ】／【ユー
ザー補助】／【高度な設定】／【帯域幅の管
理】／【Labs】

2 各項目を設定

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウ
ンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、
自動入力テキストについて設定します。

プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラ
ウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、
Cookie、フォームデータ、現在地情報、パス
ワードについて設定します。

ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキスト
のサイズ、画面の反転レンダリングについて設
定します。

・【コントラスト】は【反転レンダリング】に
チェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバック
グラウンド表示、JavaScriptの設定、プラグイ
ンの設定、ウェブサイト設定、ページコンテン
ツ、初期設定リセットについて設定します。

帯域幅の管理：検索結果のプリロードや画像の読み込みについて設定します。

Labs：クイックコントロールについて設定しま
す。

ファイル管理

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P101
- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかつたり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になつたりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

• Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖ 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに■が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- 設定パネルでもON／OFFを設定できます。→P29

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、「他のBluetoothデバイスには非表示」／「ペア設定したデバイスにのみ表示」をタップして、「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示」にしてから「デバイスの検索」をタップします。

2 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード (PIN) を入力して[OK]をタップするか、「ペア設定する」をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P73）や連絡先などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

〈例〉 ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をロングタッチ

2 []→[Bluetooth]／[]

- Bluetooth機能がOFFの場合は、確認画面で「ONにする」をタップしてください。

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉 Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

通知パネルを開くと受信したファイルを確認できます。

✓お知らせ

- 受信済みのファイルを表示するには、アプリケーションメニューで「[設定]→[Bluetooth]→[]→[受信済みファイルを表示]」をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器の[]をタップ→[ペアを解除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器の[]をタップ→[名前を変更]→端末名を入力→[OK]

◆ Bluetooth通信での端末名変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

2 []→[端末の名前を変更]→端末名を入力→[名前を変更]

◆ Bluetooth通信での表示時間の設定

1 アプリケーションメニューで【設定】→
[Bluetooth]

2 ■→【表示のタイムアウト】→時間を選択

外部機器接続

◆ microSDカードのデータをパソコン から操作

付属のPC接続用USBケーブルで本端末とパソコンを接続すると、本端末のmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSDカードがマウントされていない場合は、アプリケーションメニューで【設定】→【ストレージ】→【SDカードをマウント】をタップします。
- 【メディアデバイス (MTP)】／【カメラ (PTP)】で前回接続している場合は、接続方法が記憶されていますので、操作2以降は不要です。プログラムの画面の表示に従って操作してください。

2 ■→【USB接続】

- 【USB接続】が表示されないときは、【メディアデバイスとして接続】または【カメラとして接続】をタップし、【マスクストレージ】を選択してから操作してください。

- 本端末の内蔵ストレージとmicroSDカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識されます。microSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを終了してください。

メディアデバイス (MTP)／カメラ (PTP) で接続：→【マスクストレージとして接続】→【メディアデバイス (MTP)】／【カメラ (PTP)】→パソコン側でプログラムを選択→プログラムの画面の表示に従って操作

- 操作3は不要です。操作が終了したら、USBケーブルを取り外します。

3 【USBストレージをONにする】→【USBストレージをONにする】の画面が表示されたら【OK】→パソコン側で該当のリムーバブルディスクを表示→microSDカードとパソコンの間でデータを操作

✓お知らせ

- Windows XPで【カメラ (PTP)】を選択すると、本端末のmicroSDカードのデータを正しく表示できない場合があります。
- microSDカードを取り外している場合は、本端末の内蔵ストレージのデータをパソコンから操作できます。

❖ USBケーブルの安全な取り外し

- パソコンと接続したときに【マスクストレージ】を選択した場合に操作します。
- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 パソコン側でハードウェアの安全な取り外しを実行

2 【USBストレージをOFFにする】→USBケーブルを取り外す

◆ USBマストレージとのデータやりとり

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル（市販品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

1 本端末とUSBマストレージをUSBケーブルで接続

- USBマストレージ（複数接続した場合は1台のみ）が自動でマウントされます。

2 目的の操作を行う

✓お知らせ-----

- ACアダプタ付きのUSBマストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラ、ワンセグなどと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

❖ USBマストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 アプリケーションメニューで【設定】→【ストレージ】→【USBストレージのマウント解除】→USBケーブルを取り外す

カメラ

◆撮影時の注意事項

- ・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- ・カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがあります、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- ・撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- ・レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- ・カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- ・マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音は鳴ります。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、美演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

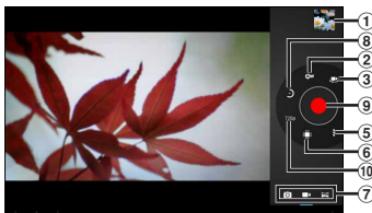
- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影画面の見かた



カメラ(写真)撮影画面



ビデオ(録画)撮影画面

- ① 最後に保存した写真／ビデオの表示・再生
- ② ホワイトバランス
- ③ インカメラ／アウトカメラの切り替え
- ④ シャッターボタン
- ⑤ 設定アイコン
- ⑥ 保存先の変更（本体／SD）
- ⑦ カメラ（写真）／ビデオ（録画）／パノラマ撮影の切り替え
- ⑧ 低速度撮影（動画）
- ⑨ 録画開始／終了ボタン
- ⑩ 画質設定（動画）

◆カメラ（写真）撮影

- 1 アプリケーションメニューで[カメラ]→撮影画面に被写体を表示→
- シャッター音が鳴り、写真が撮影されます。

◆ビデオ（録画）撮影

- 1 アプリケーションメニューで[カメラ]→→撮影画面に被写体を表示→
- 撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
・撮影が開始されると、撮影画面右上に録画経過時間が表示されます。

- 2 撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

◆パノラマ撮影

静止画撮影時に、カメラの方向を左右または上下に少しずつずらすだけで連続したパノラマ画像を撮影できます。

- ・インカメラでのパノラマ撮影はできません。

- 1 アプリケーションメニューで[カメラ]→

パノラマ撮影画面に切り替わります。

- 2 カメラを被写体に向ける

- 3

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
・撮影時にカメラの方向をすらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

- 4

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

◆撮影時の設定変更

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- ホーム画面、アプリケーション画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

❖カメラ（写真）撮影時の設定変更

■ホワイトバランス（アウトカメラのみ）

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■データ保存先切替

撮影データの保存先を選択します。

■カメラ設定

位置情報を記録する：位置情報を付加するかどうかをON／OFFで切り替えます。

フォーカスマード（アウトカメラのみ）：被写体に合わせて、フォーカスのモードを切り替えます。

- 約8cm～無限遠まで被写体にピントを合わせることができます。

- [オート]／[マクロ]のときは、シャッターボタンをロングタッチしても、フォーカスロックできます。ピントが合うとフォーカス枠が緑色になり、確認音が鳴ります。

表示サイズ：カメラ（写真）撮影時の画像サイズを選択します。

写真的画質：カメラ（写真）撮影時の画質を選択します。

初期設定に戻す：カメラ（写真）の各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

❖ビデオ（録画）撮影時の設定変更

■ホワイトバランス（アウトカメラのみ）

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■低速度撮影の間隔

低速度撮影時の時間間隔を選択します。

■動画の画質

ビデオ（録画）撮影時の画質やサイズを選択します。

■データ保存先切替

撮影データの保存先を選択します。

■カメラ設定

位置情報を記録する：位置情報を付加するかどうかをON／OFFで切り替えます。

初期設定に戻す：ビデオ（録画）の各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。

静止画：JPEG、BMP、GIF、PNG、WEBP

動画：H.263、H.264、H.264 AVC、MPEG-4、MPEG-2、VC-1、VP8、WMV9

- ファイルによっては表示／再生できない場合があります。

◆ 画像の表示／再生

1 アプリケーションメニューで[ギャラリー]→アルバムを選択→画像を選択

- 動画は画像一覧で ● が表示されます。動画の画像をタップして、アプリケーションを選択すると再生できます。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

■ 静止画表示中の操作

- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 静止画表示中に ■ をタップすると、[スライドショー]／[編集]／[左に回転]／[右に回転]／[トリミング]／[登録]／[詳細情報] の各操作ができます。[編集] では、色調や明るさの補正、特殊効果などの編集ができます。[登録] では、電話帳の写真や壁紙に登録できます。
- 静止画表示中に ■ をタップすると、表示中の画像を削除できます。

■ 動画再生中の操作

- ◀ ▶ で音量を調節します。
- 操作画面で再生／一時停止のほか、プログレスバーをスライドさせて再生位置を変更できます。

■ 画像一覧での操作

- 画像を長タップすると、画面左上にチェックが表示され、画像に水色の枠が表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像を選択した状態で画面上部の [[〇件選択済み]] をタップして [[すべて選択]]／[[選択をすべて解除]] を操作できます。
- 1件の画像を選択した状態で、■ をタップすると、[編集]／[左に回転]／[右に回転]／[トリミング]／[登録]／[詳細情報] を操作できます。

✓お知らせ

- アルバム一覧で左上に表示される [アルバム] をタップすると、画像を [アルバム]／[ロケーション]／[時間]／[タグ] 別に分類して表示を切り替えることができます。[タグ] による分類は、Picasa のアルバムに設定されたタグ情報による分類となります。あらかじめ Picasa のアルバムにタグ情報を設定した上で、Picasa に登録されている Google アカウントを本端末に同期させてからご利用ください。
- 画面上部に表示されるアイコンをタップすると、次の操作ができます。

○：カメラを起動

□：スライドショー

△：送信方法を選択して画像の送付や共有

▲：画像の削除

■：各画面でのメニューを表示

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを使用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。

- ・パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「microSDカードのデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P68
- ・再生可能なファイル形式／コーデックは次のとおりです。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
AAC LC/LTP、AAC、AAC+、eAAC+、HE-AACv1、HE-AACv2、MP3、MIDI、WMA9、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、Vorbis、PCM、WAVE

◆ 音楽再生

- 1 アプリケーションメニューで[Play ミュージック]→[新着]→項目を選択
 - ・[曲] を選択した場合は、操作3へ進みます。
- 2 アイテムを選択
- 3 曲を選択

YouTube

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどできます。

1 アプリケーションメニューで[YouTube]

動画の一覧画面が表示されます。

- ・ [ログイン] をタップして、ログインすると動画をアップロードしたり、お気に入りや再生リストなどを作成したりできます。
- ・YouTubeにログインして利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回ログイン時に画面の指示に従って設定してください。

2 動画を選択

- ・再生画面をタップすると一時停止／再生の切り替えができます。
- ・ で音量調節ができます。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Google Play起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ アプリケーションをインストール

1 アプリケーションメニューで[Playストア]

Google Playの画面が表示されます。

- 初回起動時は利用規約を読み、[同意する] をタップします。

2 アプリケーションを検索→アプリケーションを選択

3 [ダウンロード](無料アプリケーションの場合)／[金額](有料アプリケーションの場合)

- アプリケーションによって表示される内容は異なります。
- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。

多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で【同意してダウンロード】／【同意して購入】をタップすると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は【同意してダウンロード】／【同意して購入】をタップします。

- 有料アプリケーションの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。

アプリケーションの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリケーションにつき1回のみ有効）。

アプリケーション購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、Google Play画面で■→【ヘルプ】→【Androidアプリ】→「アプリケーションの購入」をご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに☑が表示されます。

✓お知らせ

- ・アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- ・万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがありますのでご注意ください。
- ・アプリケーションメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- ・インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます。→P60

◆ Google Playのアプリケーションの削除

1 Google Play画面で画面右上の

2 アプリケーションを選択

3 [アンインストール]→[OK]

◆ Google Playのヘルプ

1 Google Play画面で→[ヘルプ]

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

◆ GPSのご利用にあたって

- ・GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報をを利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・高精度度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ・ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- ・各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体右上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- ・建物の中や直下
- ・地下やトンネル、地中、水中
- ・かばんや箱の中
- ・ビル街や住宅密集地
- ・密集した樹木の中や下
- ・高圧線の近く
- ・自動車、電車などの室内
- ・大雨、雪などの悪天候
- ・本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報サービスの設定

❖ GPS機能

GPSを使用して現在地の特定をアプリケーションに許可するかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報サービス]→[GPS機能]にチェック→[同意する]

✓ お知らせ

- ・精度の高い位置情報を測位するには、視界が良好な場所で使用してください。
- ・本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。
- ・Googleの位置情報サービスと併用することをお勧めします。

❖ Googleの位置情報サービス

Wi-Fiからの情報をもとに、現在地の特定を許可するかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報サービス]→[Googleの位置情報サービス]にチェック→[同意する]

❖ 位置情報とGoogle検索

検索結果やサービスの品質向上にGoogleが現在地情報を使用することを許可するかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報サービス]→[位置情報とGoogle検索]にチェック→[同意する]

- ・[位置情報とGoogle検索]にチェックを付けると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された位置データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行います。

- ・Googleマップを利用するにはWi-Fi接続が必要です。
- ・現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。
- ・Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

❖現在地を表示

1 アプリケーションメニューで[マップ]→

- 地図表示中は次の操作ができます。
スクロール：地図をスクロールします。
2本指スワイプ：上下スワイプで地図の表示が傾斜します。回転スワイプで地図の表示が回転します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。
2本指タップ：縮小します。

❖ストリートビュー

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

1 地図表示中に地点をロングタッチ→表示された吹き出しをタップ→[ストリートビュー]

- ストリートビュー表示中に■→[コンパスモード]をタップしてコンパスモードをオンになると、本端末の電子コンパスとストリートビューの方位が連動します。

❖場所を検索

1 地図表示中に[地図を検索]→検索ボックスにキーワードを入力

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ondon 美術館）を入力します。

2 🔍/検索候補を選択→地図上の吹き出しをタップ

- 検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸を選択して吹き出しを表示します。[検索結果]をタップしてリストを表示し、目的の場所を選択して詳細情報とオプションを開くこともできます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖レイヤを表示

地図表示に道路の交通情報を追加したり、航空写真表示に切り替えたりします。

1 地図表示中に▣→項目を選択

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

❖道案内

1 地図表示中に◆

2 [現在地]→出発地を入力→[目的地:]→目的地を入力

- 現在地から道案内をする場合は、出発地は[現在地]のままにします。
- 入力欄右の▲をタップして、現在地や連絡先の住所、地図上の場所、マイプレイスを指定することもできます。

3 移動手段(自動車／公共交通機関／徒歩)を選択→[実行]

🚗：自動車 🚍：公共交通機関 🚶：徒歩

- 自動車を選択した場合は、▲をタップするとナビを開始します。
- 検索して複数の目的地やルートが見つかった場合は、目的地やルートを選択します。

✓お知らせ

- アプリケーションメニューで[ナビ]の操作でもナビを起動することができます。

◆ Google Latitudeで友だちの現在地を確認

地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Latitudeの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

◆ Latitudeに参加

1 地図表示中に[?]→[Latitude]に参加]

- Latitudeの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
地図表示中に[?]→[ヘルプ] → [操作手順] → [その他のマップの機能] → [Latitude]

✓お知らせ

- アプリケーションメニューで【Latitude】の操作でもGoogle Latitudeを起動することができます。

◆ ローカル

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索します。

1 アプリケーションメニューで[ローカル]

2 施設／店舗を選択

- [?]→[検索を追加] をタップすると、一覧にならない施設や店舗（美術館、書店など）を追加できます。

3 目的の場所を選択

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp/>

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、放送波を受信しています。そのため、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ・放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

✓お知らせ

- 充電しながら長時間ワンセグを視聴すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

◆ワンセグの起動

1 アプリケーションメニューで[テレビ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、使用許諾を読んで〔同意する〕をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P83

✓お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、スクリーンショットは実行できません。

❖ワンセグ視聴画面について



① テレビ映像エリア

- 全画面表示でタップして選局ボタンの表示
- ダブルタップして全画面／視聴画面の切り替え
- ロングタッチして画面を固定／解除
- 左右にスライドしてチャンネルの切り替え

② 字幕表示エリア

- チャンネル、放送局、番組名
- タップして番組内容の表示

④ データ放送エリア

⑤ データ放送の操作ボタン

⑥ 選局ボタン

⑦ チャンネル切り替えボタン

- ロングタッチして、チャンネルサーチの実行
未登録の放送局が見つかったときは、[] → [設定] → [チャンネル] → [チャンネル設定] → [チャンネル追加] → [〔はい〕] → [〔はい〕]をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

⑧ 左にスライドして録画開始／右にスライドして録画終了

[] : 音量調節

[] : 番組表の表示

◆ワンセグの終了

1 ワンセグ視聴画面で[] → [終了]

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖ テレビリンクの登録

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択

- ・テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。
- ・テレビリンクの接続先がHTMコンテンツ（ブラウザなど）の場合は、テレビリンクコンテンツの登録は行われません。

❖ テレビリンクの表示

1 ワンセグ視聴画面で [■] → [TVリンク] → テレビリンクを選択

登録されたサイトに接続します。

❖ テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で [■] → [TVリンク]

2 テレビリンクを選択(ロングタッチ) → [削除] → [はい]

テレビリンクをすべて削除 : [■] → [全件削除] → [はい]

◆ ワンセグ録画

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 ワンセグ視聴画面で [■] を左にスライドして録画を開始

- ・ワンセグ視聴画面→P80

2 [■] を右にスライドして録画を終了

✓お知らせ

- ・あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。
- ・録画を開始するにはmicroSDカードの空き容量が10MB以上、電池残量が20%以上必要です。
- ・録画中に次の状態になると録画が自動で停止します。
 - microSDカードの空き容量が2MB以下
 - 電池残量が10%以下
 - 録画開始から6時間経過
- ・録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- ・録画時間が極端に短い（10秒以下の）場合は、録画停止できません。
- ・受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- ・録画中は、チャンネル切り替えはできません。
- ・録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。
- ・録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- ・録画中にmicroSDカードのマウントを解除したり、USB接続をしてmicroSDカードをパソコンにマウントすると、録画に失敗することがあります。
- ・録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

❖録画番組の再生

1 ワンセグ視聴画面で■

2 データを選択

- 再生画面をタップすると、再生コントローラーが表示されます。また、再生画面をダブルタップすると、全画面表示になります。
- 前回途中で再生を終了した場合は、続々から再されます。

◀ ▶ : 音量調節

✓お知らせ

- 録画リスト画面で、データをロングタッチすると、再生、タイトル名の変更、データの保護／解除などが行えます。

❖録画リストからデータを削除

1 ワンセグ視聴画面で■

2 データを選択(ロングタッチ)

3 [削除]→[はい]

- 全件削除するときは、録画リスト画面で■→[全件削除]→[はい]

◆ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で■→[設定]

2 [全般設定]／[チャンネル]→各項目を設定

字幕表示：字幕表示のオン／オフを設定します。

字幕言語切替：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。

主・副音声切替：副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。

音声切替：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。

左右音声切替：左右どちらの音声を聞くかを設定します。

なめらかモード：映像をなめらかにする機能を使用するかどうかを設定します。[なめらかモード]にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。

チャンネル設定：「チャンネル設定」→P83

放送用メモリ初期化：データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

◆ チャンネル設定

❖ チャンネルリストの作成

1 ワンセグ視聴画面で [] → [設定] → [チャンネル] → [チャンネル設定] → [チャンネルリスト編集] → [新規作成]

2 [手動設定] / [自動設定] → チャンネルリストを設定

手動設定：地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。

自動設定：現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。

✓お知らせ

- ・チャンネルリストを初期化する場合は次の操作を行います。

ワンセグ視聴画面で [] → [設定] → [チャンネル] → [チャンネル設定] → [チャンネルリスト初期化] → [はい]

❖ チャンネルリストの切り替え

1 ワンセグ視聴画面で [] → [設定] → [チャンネル] → [チャンネル設定] → [チャンネルリスト切替] → チャンネルリストを選択

❖ チャンネルリストから放送局を削除

1 ワンセグ視聴画面で [] → [設定] → [チャンネル] → [チャンネル設定] → [チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択

3 放送局を選択(ロングタッチ)

複数削除：[複数削除] → 放送局にチェック → [削除]

4 [はい]

❖ チャンネルボタンの割り当てを変更

1 ワンセグ視聴画面で [] → [設定] → [チャンネル] → [チャンネル設定] → [チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択 → [並べ替え]

3 [] をドラッグしてリストを並べ替える → [完了]

◆ 地デジ番組を再生する

microSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を高画質(VGAクラス)で視聴することができます(地デジ持ち出し機能)。

- ・書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードを本端末に挿入

3 アプリケーションメニューで [テレビ] → []

4 地デジ番組を選択

✓お知らせ

- ・地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDメモリカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

DLNA対応機器との連携

本端末のmicroSDカードに保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P50
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間での連携を保証するものではありません。

◆ DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[設定する(DIXIM SERVER)]

- [DiXiM Server] の画面が表示されたら、[いい] をタップします。

2 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がオンになります。

サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更できます。

アクセス権の設定：[アクセス権の初期設定] にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、[接続機器の一覧] でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。

保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。
microSDカードまたは本体メモリに保存できます。

公開フォルダ設定：DLNA機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。

起動時のメッセージ：起動したときにメッセージを表示するように設定できます。

画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかどうかを設定します。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作

- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✓お知らせ

- 本端末のカメラで撮影した動画などは、FAR70A以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[視聴する(DIXIM PLAYER)]→サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

2 再生する種別を選択→フォルダを選択

3 コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチし、そのまま上方向にスライド

4 再生先一覧で再生先を選択

- 再生先は、前回再生を行ったDLNA対応機器が記憶されています。

5 プレーヤー画面で再生

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[視聴する(DIXIM PLAYER)]→サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

2 メニューバーの[設定]→[コンテンツタップ時の動作]→[この端末で再生]

- [コンテンツタップ時の動作]で「リモート機器で再生」を選択し、リモート機器の再生先を選択することで、別のDLNA対応機器で再生することができます。

3 再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

4 プレーヤー画面で再生

- ドラマなどの連続放送の録画番組は、コンテンツが終了すると次のコンテンツを連続して再生します。
- プレーヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの統きから再生します。

✓お知らせ

- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。
- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチし、そのまま下方向にスライドすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、著作権保護されたコンテンツはダウンロードできません。

◆ デジタル録画番組を持ち出して再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[設定する(DIXIM SERVER)]

- DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。
- あらかじめ【保存先設定】でコンテンツの保存先を設定しておきます。→P84

2 DLNA対応機器からアップロードを実行
設定した保存先に、アップロードされたコンテンツが保存されます。

3 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[視聴する(DIXIM PLAYER)]→メニューバーの[持ち出し番組]

4 持ち出し番組一覧からコンテンツを選択→プレーヤー画面で再生

時計

卓上時計を表示したり、アラームを設定したりします。

1 アプリケーションメニューで[時計]

卓上時計が表示されます。

◆ アラームの設定

1 アプリケーションメニューで[時計] → []

2 目的の操作を行う

新規アラームを設定：[アラームの設定] → 時刻を設定 → [繰り返し] / [アラーム音] / [バイブレーション] / [ラベル] を設定 → [OK]

アラームON/OFF切り替え：アラームにチェック/チェックを外す

アラームの削除：時刻表示欄をロングタッチ → [アラームを削除] → [OK]

3 [完了]

❖ アラーム通知時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。

アラームの停止：通知画面で【停止】

スヌーズを設定：通知画面で【スヌーズ】

・一定時間が経過すると再びアラームが動作します。

スヌーズを解除：通知パネルを開く → スヌーズ通知をタップ

カレンダー

本端末のカレンダーをオンラインのGoogleカレンダーと同期させて、予定を管理できます。

- カレンダーを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。

◆ カレンダーの表示

1 アプリケーションメニューで[カレンダー]

■ カレンダー画面での主な操作

表示単位の切り替え：[日] / [週] / [月]

今日を含む表示に切り替え：[今日]

同期、表示するカレンダーの選択：[] → [設定] → 同期、表示するアカウントをタップ → 右側リスト欄のアカウントにチェック

・オンラインのGoogleカレンダーで複数のカレンダーを使用している場合に選択できます。

カレンダー設定：[] → [設定] → [全般設定] → 各項目を設定

◆ 予定の登録

1 カレンダー画面で[]

- 未同期のときはアカウント追加画面が表示されます。必要に応じてアカウントを追加してください。

- 時間帯をロングタッチしても登録できます。

2 各項目を設定 → [完了]

◆通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で通知を消去したりスヌーズを設定したりできます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

2 目的の操作を行う

通知の消去：通知をタップ

詳細画面が表示され、通知が消去されます。

通知をすべて消去：[通知を消去]

通知をすべてスヌーズ：[すべてスヌーズ]

5分後に再度予定を通知します。

◆予定の確認

カレンダーに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で予定をタップ

- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■予定表示画面での操作

予定の編集： → 予定を編集 → [完了]

予定の削除： → [OK]

電卓

1 アプリケーションメニューで[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：

数式をすべて消去： (ロングタッチ)

切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をロングタッチ→切り取り／コピー／貼り付けの操作

を行う

電子辞書

電子辞書を利用します。

1 アプリケーションメニューで[統合辞書] +

2 キーワードを入力→[検索]

- 文字入力中はキーワードに連動して検索候補が表示されます（インクリメンタルサーチ）。

音声検索： → キーワードを発声

ヘルプの表示：

電子辞書の操作方法を確認できます。

バージョン情報などの表示：

電子辞書設定： → [設定] → 各項目を設定

文字サイズ、検索件数、動画や音声再生の動作などを設定できます。

辞書の管理： → [辞書管理] → 目的の操作を行う

内部／外部メモリに保存されている辞書の移動や削除を行います。

3 候補一覧から調べたいキーワードをタップ

候補一覧の右側に詳細説明が表示されます。

✓お知らせ

- 辞書データを削除した場合、パソコンを使ってダウンロードサイトから再取得できます。詳しくは、ヘルプの「[サーバからの辞書コンテンツダウンロードについて]」をご覧ください。

検索

キーワードを入力して本端末内やWebサイトを検索したり、本端末内のアプリケーションを呼び出して起動したりできます。音声でWebサイトを検索することもできます。

1 アプリケーションメニューで[検索]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。
音声検索：入力欄右側のマイクをタップ→送話口に向かってキーワードを発声

3 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[検索]→

≡→[設定]→各項目を設定

検索対象：検索対象を指定します。

Google検索：Google検索について設定します。

✓お知らせ

- 特定の検索サイトを選択して検索できる「ウルトラ統合検索」を検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面でウィジェットの「ウルトラ統合検索」を一度起動してからご利用いただけます。

Document Viewer

Office文書（Word、Excel、PowerPoint）などを表示します。

1 アプリケーションメニューで[Document Viewer]

2 フォルダ／ファイルを選択

- 画面をタップするとアイコンが表示され、次の操作ができます。
 / ：前後のページ（シート）を表示
：ズームコントロールを表示
：表示範囲を指定
：ファイル一覧に戻る

- 各ファイルの閲覧画面で田を押すと、移動、検索、ページ表示、コピー、設定、共有、エンコードの設定、バージョン情報の表示などができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。

✓お知らせ

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

サポート情報の公開について

富士通タブレット専用ホームページでは、Q&A情報や、対象製品のソフトウェアを提供しています。
<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/>

◆マカフィー モバイルセキュリティについて

マカフィー モバイルセキュリティの使い方および、ライセンスの更新については、次の窓口にお問い合わせください。

マカフィー・テクニカルサポートセンター
電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：
03-5428-2279）
受付時間：9:00～21:00（年中無休）
URL：<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>
お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_mobilewebform.asp

修理について

◆修理を申し込む前の準備

- 故障かどうかをもう一度ご確認ください。→P99
- お申し込み前に必ず「富士通タブレット修理規定」を確認の上、同意をお願いします。→P91
- 保証期間内の場合は保証書をお手元にご用意ください。
保証期間は、お買い上げ日（保証開始日）から1年間です。保証期間内は無料で修理させていただきます。
ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。
詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。
- 故障品をお手元にご用意ください。
お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。
- 本端末のデータのバックアップをしてください。
修理前の診断作業および修理過程において、本端末の初期化によりデータ消去を行います。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身でバックアップしてください。バックアップの方法については「バックアップと復元」をご覧ください。
→P59

◆修理の申し込み

本端末の修理のお申し込み、および取扱説明書に従って操作しても解決できないトラブルのご相談は、お電話でお問い合わせください。

なお、お問い合わせの前に必ず「富士通タブレット相談対応規約」を確認の上、同意をお願いします。→P95

富士通タブレット修理相談センター
050-3101-2222（通話料お客様負担）
受付時間 平日9時～17時
(土・日・祝日・当社指定の休日を除く)

※電話番号はお間違えのないように、充分ご確認の上おかけください。

※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

✓お知らせ

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号、お引き取りとお届けの住所をもうかがいいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通タブレット修理規定」の第13条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。→P91

◆お引き取りとお届け

・弊社指定の宅配業者がご自宅へ本端末を引き取りにうかがいます。
梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

- ・お引き取り日時について
お引き取りは、修理受付の翌日以降（9:00～21:00[※]）で指定できます。

※地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情等により指定日時におうかがいできない場合があります。

- ・microSDカードを取り外してください。→P22
修理が終わるまで、お客様自身で大事に保管してください。
- ・本端末を初期化してください。→P60
- ・画面ロック、各種パスワード、指紋認証等は解除してください。→P41
- ・保証書を用意してください。（保証期間中の場合）
- ・宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。
- ・引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。
- ・お届けとお支払いについて
修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。
- ・修理料金について
保証期間内（保証開始日より1年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

◆ お願い

- ・本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。

液晶部やボタン部にシールなどを貼る
接着剤などにより本端末に装飾を施す
- ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- ・本端末のスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに「富士通タブレット修理相談センター」へご連絡ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

富士通タブレット修理規定

第1条（本規定の適用）

1. 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が「富士通タブレット修理相談センター」<050-3101-2222（通話料お客様負担）>にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合ならびに販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
2. 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が効的に適用されるものとします。

第2条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製タブレット（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製タブレット用の富士通製周辺機器とします。

第3条（修理の形態）

1. 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等をうかがいながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、以下に詳細を定める引取修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

【引取修理】

お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。

2. 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が対象機器に同梱されるACケーブル、ACアダプタ等のお客様にて交換可能な部品であると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第4条（保証期間内の修理）

1. 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。

2. 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- (1) 保証書が対象機器に添付されていない場合
- (2) 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合

(3) ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合

(4) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合

(5) 寿命部品や消耗品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合

(6) 接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合

(7) お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合

(8) お客様が設定したパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合

(9) お客様のご使用環境や対象機器の維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合

（例：ほこり、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

3. 第1項にかかわらず、以下に該当する場合は、保証期間内であっても、別途料金が発生するものとします。ハードウェア部分に起因する故障ではなく、初期化、再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該初期化、再インストールを希望された場合の作業料金

第5条（保証期間外の修理）

1. お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。

2. ハードウェア部分に起因する故障ではなく、初期化、再インストールで復旧する場合で、お客様が当該初期化、再インストールを希望された場合は、修理料金の他に作業料金が発生するものとします。

3. お客様による修理のご依頼が保証期間外の修理の場合であって、お客様にうかがった故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。

第6条（修理料金の見積もり）

1. 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとします。

ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。

2. 前項のうちお客様に見積金額をお知らせした日から1ヶ月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

3. 第1項のうち、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせし後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいた上で、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条（修理料金等の支払い方法）

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間で対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があるものとします。

- (1) お客様からうかがった故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- (2) 引き取り先が離島の場合
- (3) 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
- (4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
- (5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
- (6) 補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品をいい、以下同じとします）が在庫切れの場合

第9条（修理品の保管期間）

修理完了後にお客様に修理の完了ならびに返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器をお預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6ヶ月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用ならびに当該区分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条（故障部品の取り扱い）

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第11条（修理ご依頼時の注意事項）

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとり、初期化によりデータ等を消去していただくものとします。（日頃から隨時バックアップをとられるをお勧めいたします）

なお、当該消去を行なえず当該ご依頼をいただいた場合であっても、修理ならびに修理前の診断作業における初期化の過程で、データ等が消去されます。また、お客様が修理をキャンセルされた場合（第6条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点ですでに富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が消去されます。

(3) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。

(4) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外した上で修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。

(5) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。

(6) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除した上で修理をご依頼いただくものとします。

(7) 対象機器の修理とは関係のない記憶媒体（SDメモリーカード等）、他の機器との接続ケーブル、ならびに添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外した上で修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。

(8) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。

a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理

b. ウィルスの除去

c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換

d. データ等のバックアップおよび復旧作業

第12条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第10条に定める故障部品の再利用も含む）とします。

2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間ににつきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第13条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1) 修理を実施すること。

(2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

(4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに、当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができます。

3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第1項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはできません。

第14条（責任の限定）

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より3ヶ月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。

2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかつた場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。

3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。

また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。

4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第15条（変更）

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第16条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2012年10月1日から実施します。

■対象機器

- 型名 FAR *** (* *** は数字またはアルファベット3桁)

富士通タブレット相談対応規約

第1条（適用範囲）

1. 本規約は、富士通株式会社（以下「富士通」といいます）が提供する「富士通タブレット修理相談センター」の各サービス（以下「本サービス」といいます）を、次条に定めるタブレット利用者（以下「利用者」といいます）が利用する場合に適用されます。

2. 本規約とは別に、富士通が本サービスごとに利用規約または利用条件（以下あわせて「利用規約等」といいます）を定めた場合には、利用者は、当該利用規約等に従って本サービスを利用するものとします。なお、本規約と利用規約等の定めが異なる場合は、当該利用規約等の定めが優先して適用されるものとします。

第2条（利用者）

1. 利用者は、本規約末尾記載の本サービスの対象製品（以下「サービス対象製品」といいます）を購入し、「富士通タブレット修理相談センター」に電話をしていただいた方をいいます。

第3条（本サービス）

1. 富士通は、利用者に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。

(1) サービス対象製品に関する、「富士通タブレット修理相談センター」での相談対応

a. 電話での相談対応

2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第4条（富士通タブレット修理相談センターによる相談対応）

1. 富士通は、利用者に対し、電話にて、以下の相談対応（以下「電話相談対応」といいます）を提供します。
(1) サービス対象製品が、取扱説明書に記載されている仕様および操作方法どおりに動作しない場合の、問題解決のための支援。

2. 電話相談対応における利用者からの問い合わせの受付方法および受付時間については、本規約末尾記載のとおりとします。

3. 利用者は、電話相談対応を利用する場合、サービス対象製品の記憶装置（内蔵メモリ等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容等については、事前に利用者の責任においてバックアップをとるものとします。

4. 以下の作業は、電話相談対応の対象とならない場合があることを、利用者はあらかじめ了承するものとします。

(1) サービス対象製品以外のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業

(2) サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、利用者が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソフトウェアのサポート作業
(3) サービス対象製品のOSがAndroid OSである場合、富士通がAndroid OS自体に起因すると判断する不具合に対するサポート作業

(4) 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業

(5) 電話による相談対応が、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業

(6) 取扱説明書に記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業

(7) 電話以外の手段での、相談対応の受付
(8) その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業

5. 電話相談対応の利用料については、本規約末尾記載のとおりとします。なお、利用者が富士通タブレット専用ホームページを利用する際にかかる通信費等は、別途利用者が負担するものとします。

6. 前項において利用料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード（MASTER/VISA/JCB）での支払いとします。なお、支払方法は一括払いとします。

7. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、利用料は当該クレジット会社の対応規程において定められている振替日に利用者指定の銀行から引き落とされるものとします。なお、当該支払に要する手数料は、利用者の負担とします。

第5条（利用者の遵守事項）

1. 利用者は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよび情報を、富士通に提供するものとします。

2. 利用者は、富士通が依頼する問題解決に必要と判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとします。

3. 利用者は、本規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとします。また、本サービスにより富士通が利用者に提供した情報その他著作物は、その利用者のみ利用ができるものであり、利用者は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとします。

4. 利用者は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとします。利用者が当該届出を怠った場合、富士通は当該利用者に対して本サービスを提供しないことがあります。

5. 利用者は、サービス対象製品に関する所有権、使用権等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該利用者に対して本サービスを提供しないことができるものとします。

第6条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本サービスの利用にあたり利用者が富士通に通知した情報のうち、当該利用者個人を識別できる情報（以下「利用者の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1) 本サービスを提供すること。
(2) 本サービスの向上を目的として、Eメール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3) 本サービスの向上を目的として、利用者におけるEメールの開封状況、富士通のWebページの閲覧状況、その他利用者における本サービスの利用に関する情報を収集、および分析すること。

(4) 利用者に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、Eメール、郵便、電話等により利用者へ提供すること。

(5) 利用者の個人情報の取り扱いにつき、個別に利用者の同意を得るために、当該利用者に対しEメール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。

(6) キャンペーン品・モニター品・当選賞品などを利用者へ発送すること。

2. 富士通は、前各項に定める利用目的のために必要な範囲で、利用者の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、利用者の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはできません。

第7条（サービスの打ち切り）

富士通は、利用者への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを利用者は了承するものとします。

第8条（責任の限定）

1. 富士通は、利用者が本サービスを利用するにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。

2. 本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により利用者が損害を被った場合には、当該本サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により利用者が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとします。

3. いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとします。

4. 本サービスの利用または利用不能により利用者が被った損害が、富士通の故意または重大過失に起因するものである場合には、第2項および前項の規定は適用されないものとします。

第9条（利用者資格の取消等）

1. 利用者が次のいずれかに該当する場合、富士通はその利用者資格を取り消すことがあります。

(1) 本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合

(2) 本規約に違反した場合

(3) 本サービスの運営を妨げる行為を行った場合

(4) 他者になりすまして本サービスを利用した場合

(5) 他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合

(6) 富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合

(7) その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合

2. 前項のいずれかの行為を利用者が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は利用者に対し当該損害の賠償を請求することができます。

第10条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、利用者は了承するものとします。

第11条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要が生じた場合は、利用者に対する通知をもって変更できるものとします。

(1) 本規約ならびに利用規約等の内容

(2) 本サービスの利用料金

(3) サービス対象製品

(4) 本サービスの内容

第12条（通知）

本サービスならびに本規約における富士通から利用者への通知は、富士通タブレット専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第13条（専属的合意管轄裁判所）

利用者と富士通の間で、本サービスにつき訴訟を提起する場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

◆ サービス対象製品

- ARROWS Tab Wi-Fi*

* 型名 FAR*** (* ***は数字またはアルファベット3桁)

◆ 富士通タブレット修理相談センターの受付方法、受付時間ならびに利用料

※ 最新の情報につきましては、富士通タブレット専用ホームページでご確認ください。

1. 受付方法および受付時間

受付方法：電話による相談対応（通話料お客様負担）

受付時間：平日9時～17時（土曜日・日曜日・祝日および富士通所定の休業日を除く）

2. 注意

受付時間は、サービス対象製品および受付方法により異なる場合があります。詳細につきましては、富士通タブレット専用ホームページでご確認ください。また、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

3. 利用料

無料とします。ただし、有料での相談対応を実施する場合は、第11条および第12条に基づき、規約の変更を通知した上で実施します。

◆ 専用ホームページ

URL: [http://www.fmworld.net/arrows/wifi/
support/](http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/)

専用ホームページを利用する際にかかる通信費等は、別途利用者が負担するものとします。

トラブルシューティング (FAQ)

◆ 故障かな? と思ったら

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「富士通タブレット修理相談センター」までお問い合わせください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない

電池切れになっていますか。

● 充電ができない（充電中にランプが点灯しない）

- ・ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- ・本端末と付属のACアダプタが正しく接続されていますか。→P24
- ・付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていますか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- ・付属のPC接続用USBケーブルをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- ・充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行なうと、本端末の温度が上昇してランプが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- ・電池が切れそうな状態で充電すると、約13分で充電が停止する場合があります。その場合は、ACアダプタや卓上ホルダなどのコネクタを抜き差してください。

● 本端末の電源が切れない

⑥を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

■ 端末操作・画面

● ボタンを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。⑥を押して解除してください。→P30

● 電池の使用時間が短い

- ・内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっています。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「富士通タブレット修理相談センター」までお問い合わせください。

● タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらワイヤレス視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプタが温かくなることがあります、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。低温やけどの恐れがある場合は、警告メッセージが表示され、自動的に電源が切れることができます。

● ディスプレイが暗い

画面の明るさの設定を確認してください。→P54

● 時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の【日付と時刻の自動設定】にチェックが付いていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P60

● タップしても正しく操作できない

- 手袋をしたまま操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたまま操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたまま操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作していませんか。
- 本端末のディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。

● 本端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリケーションを削除してください。→P57

● データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P25

● 音声が出力されない

ワイヤレス視聴中やDiXiM Playerなどでのコンテンツ再生中にステレオイヤホンプラグを抜くと、音量が最小になります。音量を上げてください。

■ メール

● 新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない

Eメールのアカウント設定の【メール着信通知】を変更していませんか。→P62

■ ワンセグ・カメラ

● ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
- チャンネルを設定していますか。→P83

● カメラで撮影した写真やビデオがぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- フォーカスマードを【オート】にしてください。→P72

■ データ管理

● microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P22

● データ転送が行わらない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ Bluetooth機能

● Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合は本端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

■ 音声レコーダー

● 音声レコーダーで、録音した音声がすべて再生されない

音声レコーダーでの録音データの簡易再生は、ディスプレイの表示が消えると同時に停止します。すべてを再生したい場合には、ミュージックプレーヤーを使用して再生してください。→P74

◆ エラーメッセージ

● 電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→P23

● やり直してください

画面ロックの解除時にパターン、暗証番号またはパスワードが誤っているときに表示されます。正しいパターン、暗証番号またはパスワードを入力してください。→P41

廃棄・リサイクル

■個人のお客様へ

PCリサイクル対象外であり、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。

■法人・企業のお客様へ

弊社ではお客様から排出される機器を回収リサイクル（有償）し、リチウムイオン電池など資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。詳細は当社ホームページ「事業系IT製品リサイクルサービス」(<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/>)をご覧ください。

主な仕様

■本体

品名	FAR70A/FAR75A	
サイズ	高さ約181mm×幅約262mm×厚さ約11.3mm	
質量	約599g	
メモリ	ROM	16GB (FAR70A) 32GB (FAR75A)
	RAM	1GB
連続使用時間 ^{※1}	動画再生時	約10時間
	音楽再生時	約83時間
	スタンバイ時	約2900時間
充電時間 ^{※2}	約400分	

液晶部	種類	TFT
	サイズ	約10.1inch
	発色数	16,777,216色
	ドット数	横1280ドット×縦800ドット（ワイドXGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/4.0inch インカメラ：1/6.0inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約510万画素 インカメラ：約130万画素
記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約500万画素 インカメラ：約130万画素
無線LAN		
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR準拠 ^{※4}
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離 ^{※5}	約10m以内
	対応プロファイル ^{※6}	OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP
外部接続端子 ^{※7}		USB2.0 (micro-AB)

※1 ご使用の環境により異なる場合があります。音楽再生時の時間は、フル充電時の再生可能な時間の総量の目安です。本製品は24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

※2 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※3 IEEE802.11nは、2.4GHzのみ対応しています。

- ※4 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※5 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
- ※6 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※7 USB機器の接続には市販の変換アダプタが必要となります。外部ストレージはFAT16またはFAT32フォーマット機器に対応します。

■内蔵電池

使用電池	リチウムポリマー電池
公称電圧	3.7V
公称容量	6560mAh

❖ファイル形式

本端末で撮影した写真（静止画ファイル）とビデオ（動画ファイル）は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画ファイル	JPEG	jpg
動画ファイル	MP4	3gp

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うご確認いただけます。

アプリケーションメニューで【設定】→【端末情報】→【認証】

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

Wi-Fiとは

無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という設定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

◆認証取得内容

■ IEEE Standard^{※1}

- IEEE 802.11b
- IEEE 802.11g
- IEEE 802.11n



■ Security^{※2}

- WPA™ - Personal, Enterprise
- WPA2™ - Personal, Enterprise

Vendor EAP Types^{※3}

- EAP-TLS
- PEAPv0/EAP-MSCHAPv2

■ Multimedia

- WMM[®]^{※4}

■ Special Features

- Wi-Fi Protected Setup™^{※5}



※1 無線LAN規格IEEE 802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。

※2 IEEE 802.11iに基づきWi-Fi Alliance®が策定した無線LANの暗号化方式の規格です。

WPA™

Wi-Fi Protected Accessの略で、相互運用可能なセキュリティ拡張の標準化仕様です。

暗号化方式はTemporal Key Integrity Protocol (TKIP)を使用します。

WPA2™

IEEE 802.11i規格に準拠し、WPA™認証をさらに強化しており、下位互換性があります。

暗号化方式はAdvanced Encryption Standard (AES) を使用し、現在Wi-Fi認証ではWPA2™認証は必須となっています。

WPA™、WPA2™の両方の認証にEnterpriseとPersonalがあり、Enterpriseは802.1xとEAP、Personalでは事前共有キー（WPA/WPA2-PSK）で認証を行います。

※3 EAPはExtensible Authentication Protocolの略で、ネットワークデバイスのIDを確認するため使用される認証プロトコルです。WPA™/WPA2™-Enterprise認証で使用されます。

EAP-TLS

Extensible Authentication Protocol Transport Layer Securityの略で、クライアントと認証サーバーの両方でデジタル証明書を使って無線LANクライアントの認証を行います。

PEAPv0/EAP-MSCHAPv2

PEAPはProtected Extensible Authentication Protocolの略で、パスワードなどの認証データを802.11ワイヤレスネットワークで転送するために、クライアントと認証サーバーの間に暗号化されたSSL/TLSトンネルを作成し、サーバ側のデジタル証明書のみを使って無線LANクライアントを認証します。本方式では暗号化されたSSL/TLSトンネルを介してEAP-MSCHAPv2を実行します。

※4 WMM[®]はWi-Fi Multimediaの略で、IEEE 802.11eに基づいてWi-Fi Alliance®が策定したQoS機能規格です。無線LANネットワーク内のさまざまなトラフィックに優先順位を割り当てる機能を有しています。

※5 WPS機能で、無線LANの接続設定内容 (SSIDや認証方式、暗号キーなど) をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び國外貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。Adobe Flash Player Copyright© 1996-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.



Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。



- ・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate) の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate) の略です。
 - Windows XPIは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたは Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- ・GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Goole PlayおよびGoole Playロゴ、GmailおよびGmailロゴ、Google Latitude、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google, Inc.の登録商標です。
- ・Bluetooth®は、Bluetooth SIGの商標であり、弊社へライセンスされています。
- ・「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ・Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMN®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- ・Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- ・AOSS™は株式会社パッファローの商標です。((O))

- ・OBEX™は、Infrared Data Association® の商標です。

- ・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルピー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・FrameSolidは株式会社モルフォの登録商標です。
- ・DigiOn及びDiXiMは、株式会社デジオンの商標です。


- ・StationMobile®は、株式会社ピクセラの登録商標です。
- ・TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents:
5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- ・その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- ・本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画や i モーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

StationMobile[®]



immersion.

・本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のためには(i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または(ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、默示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpeglalicense.com>をご参照ください。

・本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のためには(i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または(ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、默示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpeglalicense.com>をご参照ください。

・FrameSolidは株式会社モルフォの画像フレーム補間機能です。

◆ Adobe® Flash® Player エンドユーザー・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying,
(ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a

provision indicating ownership of the Software by Partner and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of the Integrated Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Partner or its Distributors.

◆ オープンソースソフトウェア

- ・本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- ・本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。
ライセンスに関する詳細は、アプリケーションメニューで【設定】→【端末情報】→【法的情報】→【オープンソースライセンス】をご参照ください。
- ・本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードは、GPL (<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>, <http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.html>)、LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1.html>)、MPL (<http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>)、CPL (<http://www.eclipse.org/legal/cpl-v10.html>)、EPL (<http://www.eclipse.org/legal/epl-v10.html>) の規定に従い開示しております。

詳細については以下のサイトの本製品に関する情報をご参照ください。

<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/download/develop/>

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（太字）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

アカウント	57
削除	58
自動同期	58
手動同期	58
追加	57
アプリケーション	56
アンインストール	57
データやキャッシュの削除	57
無効化	57
アプリケーションメニュー	32
アラーム	86
位置情報サービス	77
英語表示	58
音	52
音・振動	52
音楽	74
音声検索	88
音声検索の設定	59
音声文字入力	36
音量調節	53

カ行

学習データ	38
画像	65
ダウンロード	65
カメラ	70
カメラ（写真）撮影	71
カメラ（写真）撮影画面	71
画面	54
画面の明るさ	54

画面の自動回転	54
画面ロック	42
解除	42
自動ロック	42
手動ロック	42
所有者情報	43
カレンダー	86
機内モード	51
言語	58
検索	88

サ行

時刻	60
自動復元	59
指紋認証機能	43
充電	23
初期化	60
初期設定	21
ステータスアイコン	29
ステータスバー	28
ストレージ	55
スリープモード	30
解除	30
静止画表示	73
セキュリティロック	41
設定パネル	29
設定メニュー	49
操作音	53

タ行

卓上ホルダ充電設定	23
タスク管理	30
タッチパネル	25
単語リスト	58
端末情報	60
端末の暗号化	46
地デジ持ち出し機能	83
チャンネル設定	83
通知アイコン	28
通知音	53
通知パネル	29

提供元不明のアプリケーション	45
ディスプレイ	54
手書きキーボード	33
テキスト編集	40
テキスト読み上げの設定	59
テレビ	80
テレビリンク	81
テンキー・キーボード	33
電源ON/OFF	25
電子辞書	87
電卓	87
電池	
充電	23
動画再生	73
トーク	63
時計	86

ナ行

認証情報	45
------	----

ハ行

パスワード表示	44
パスワードマネージャー	45
バックアップ	59
パノラマ撮影	71
ハンドジェスチャーコントロール	27
日付	60
ビデオ（録画）撮影	71
ビデオ（録画）撮影画面	71
フォント	54
ブックマーク	64
ブラウザ	64
画面の操作	64
設定	65
タブの操作	64
履歴	64
リンクの操作	65
Webサイトの表示	64
プロフィール	
編集	48
ホーム画面	31

マ行

マナーモード	52
マルチメディア	55
ミュージックプレーヤー	74
無線とネットワーク	50
メール	61
メモリ空き容量	55
文字入力	
音声文字入力	36
キーボード	33
データ引用	36
テキスト編集	40
Androidキーボード	36
ATOKの設定	37

ヤ行

ユーザー辞書	38
ユーザー補助	60

ラ行

リセット	60
連絡先	
インポート	48
エクスポート	48
グループ作成	48
グループ表示	47
削除	48
登録	48
編集	48
連絡先リスト	47
ローカル	79
ロック画面	30

ワ行

ワンセグ	79
------	----

英数字・記号

Androidキーボード	58
ATOKの設定	37

Bluetooth通信	66
DLNA	84
Document Viewer	88
Dolby Mobile設定	55
Eメール	61
Gmail	63
Google Latitude	79
Google Play	75
Google トーク	63
Googleの位置情報サービス	77
Googleマップ	77
GPS機能	77
GPS／ナビ	76
microSDカード	22
データ消去	55
取り付け／取り外し	22
パソコンから操作	68
フォーマット	55
NX!エコ	56
Office文書	88
Playストア	75
QWERTYキーボード	33
USBマストレージ	69
VPN	52
Wi-Fi	50
YouTube	74
50音キーボード	33

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中のひととメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報を掲載した好ましくないサイトも存在しています。

特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ・アダルトサイト（ボルノ画像や風俗情報）
- ・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ・出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ・暴力残虐画像を集めたサイト
- ・毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100%完全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の2つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ・フィルタリングの機能をもつアプリケーションをインストールする
- ・インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する

これらのアプリケーションのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリケーションの説明書またはヘルプをご確認ください。

なお、アプリケーションやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Webフィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認の上、ご利用されることをお勧めします。

✓お知らせ-----

- ・フィルタリング機能をもつアプリケーション「i-フィルター®」をお使いになる場合は、次の操作を行います。
アプリケーションメニューで「i-フィルター」

サポート情報はこちら

■本端末から

アプリケーションメニューで「サポート情報」

■パソコンから

<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/>